# Ⅰ　調査の概要

## １　調査項目

児童家庭相談について

## ２　調査目的

児童虐待相談件数の急増、育児不安等を背景とした子育て相談ニーズにきめ細やかに対応するため、平成17年4月の児童福祉法改正において、従来、県(児童相談所)が対応することとされていた児童家庭相談について、市町村が一義的な相談窓口となることが規定されました。

法改正後２年が経過していますが、現状で児童家庭相談についての県民のみなさんの認識をお聞きすることにより、児童虐待や子育て困難等の問題に対し、行政がどのような相談体制を整備していくことが必要かを把握し、今後の市町村への支援や県の相談体制の充実のための施策に反映させる予定です。

## ３　調査期間

平成19年11月２日（金）～11月５日（月）

## ４　調査実施委託機関

株式会社 マクロミル

## ５　調査方法

インターネット調査

## ６　調査対象者

20歳以上で新潟県内に在住する人

## ７　回答者数

310人

## ８　アンケート調査回答者の構成

| | | 回答者 | |
|---|---|---|---|
| | | 実数（人） | 構成比（%） |
| | | 310 | 100.0 |
| 性別 | 男　　性 | 154 | 49.7 |
| | 女　　性 | 156 | 50.3 |
| 年齢別 | ２０～３９歳 | 111 | 35.8 |
| | ４０～５９歳 | 128 | 41.3 |
| | ６０歳　以上 | 71 | 22.9 |

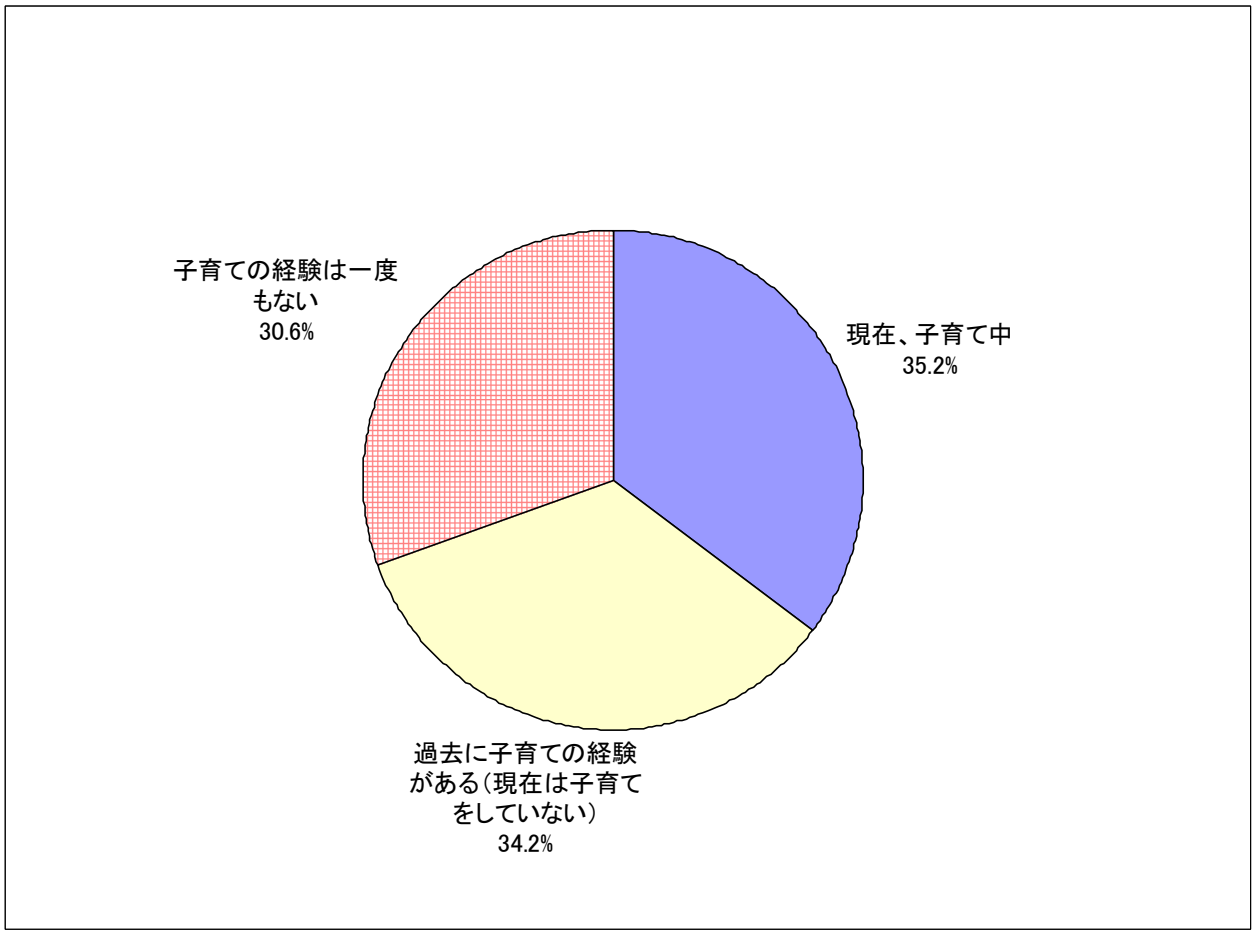
# Ⅱ　調査結果の概要

## １．子育て経験について

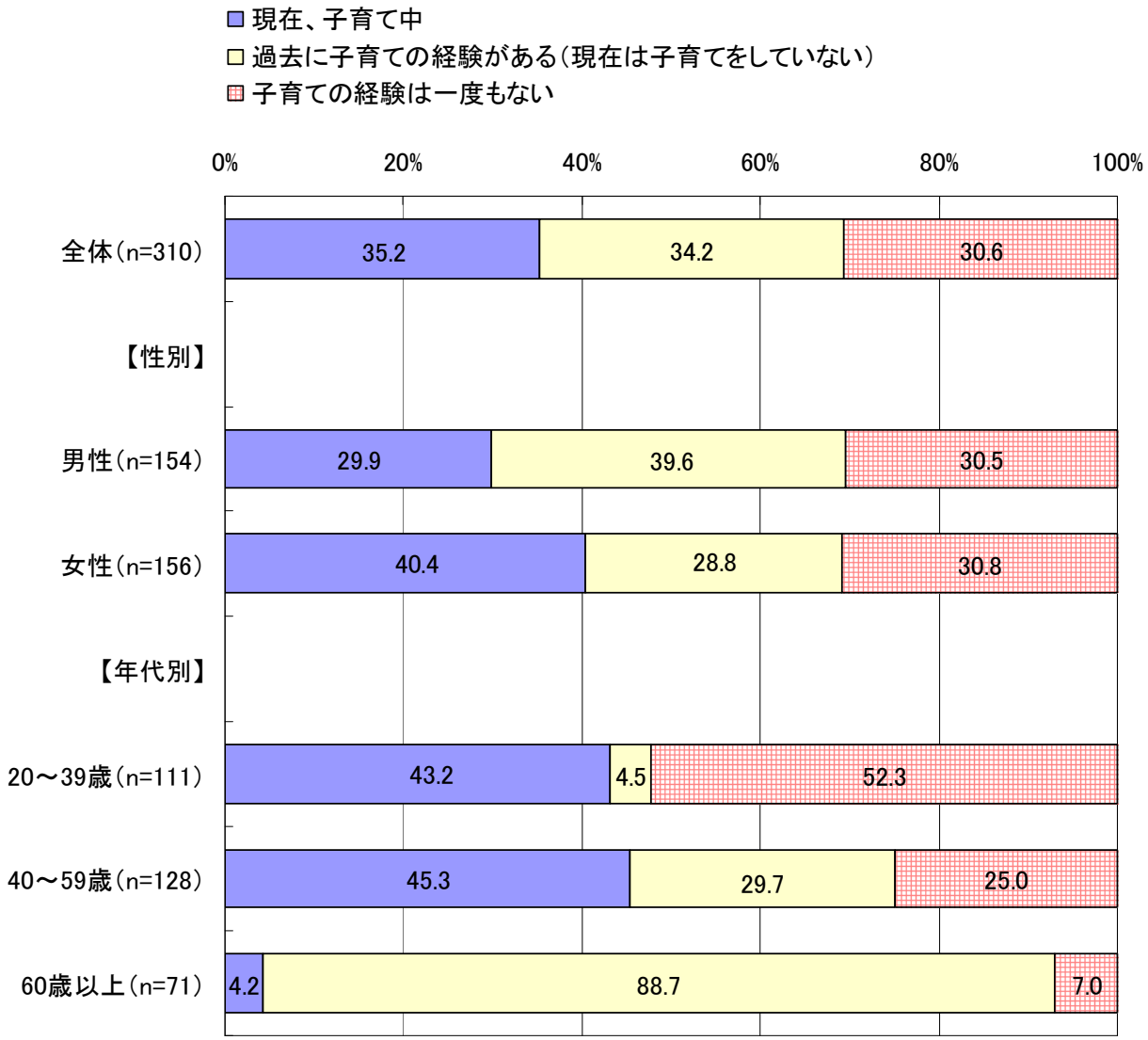
問１：あなたは、子育て（家庭で自分の子どもまたは孫の面倒をみる）の経験がありますか。
※本アンケート内では、子育ての対象を０歳から１８歳未満とします。

ｎ＝３１０人

| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | 現在、子育て中 | １０９人 | ３５．２％ |
| ２ | 過去に子育ての経験がある（現在は子育てをしていない） | １０６人 | ３４．２％ |
| ３ | 子育ての経験は一度もない | ９５人 | ３０．６％ |



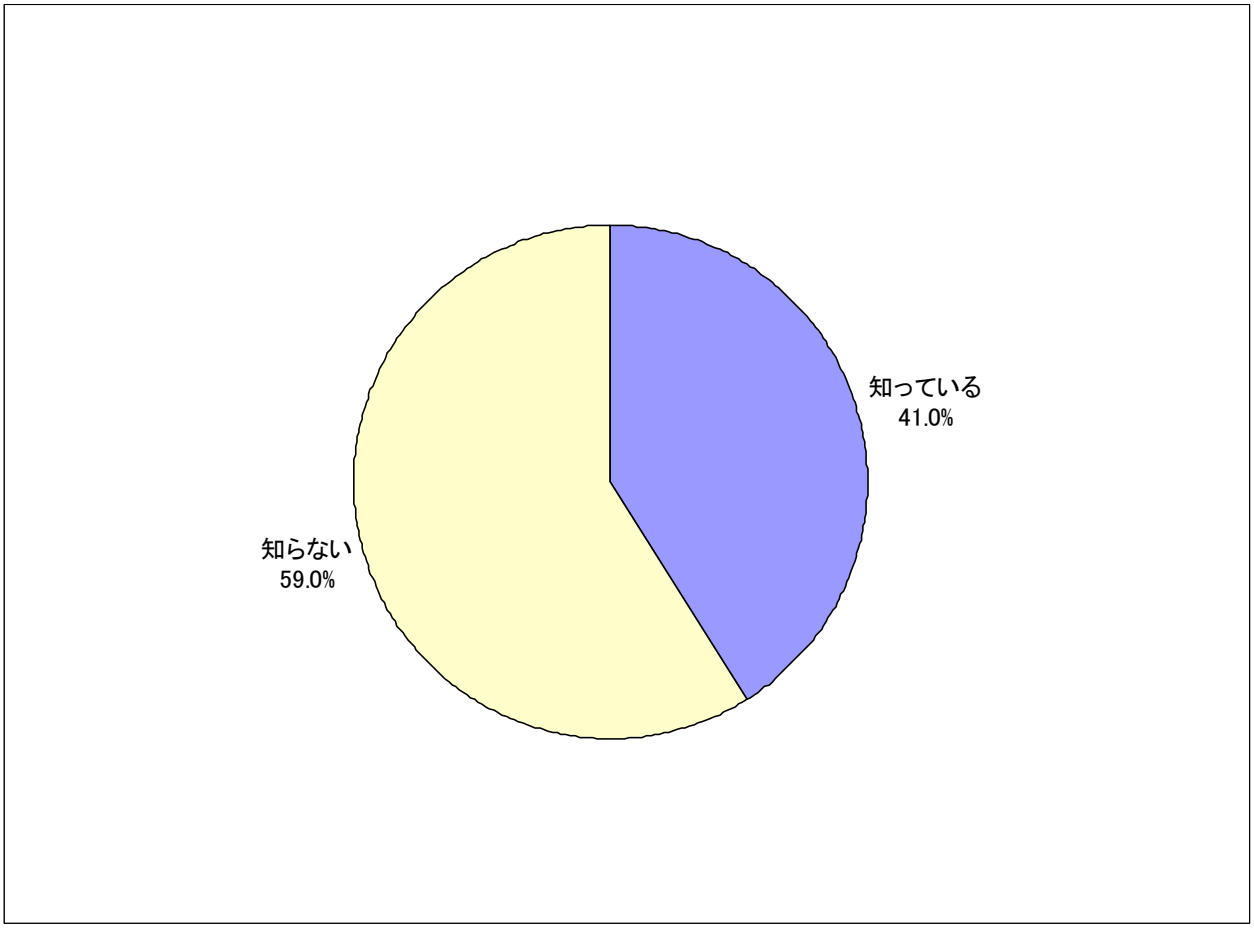
【性別・年代別】


現在、子育て中
過去に子育ての経験がある（現在は子育てをしていない）
子育ての経験は一度もない
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=310）
35.2
34.2
30.6
【性別】
男性（n=154）
29.9
39.6
30.5
女性（n=156）
40.4
28.8
30.8
【年代別】
20～39歳（n=111）
43.2
4.5
52.3
40～59歳（n=128）
45.3
29.7
25.0
60歳以上（n=71）
4.2
88.7
7.0

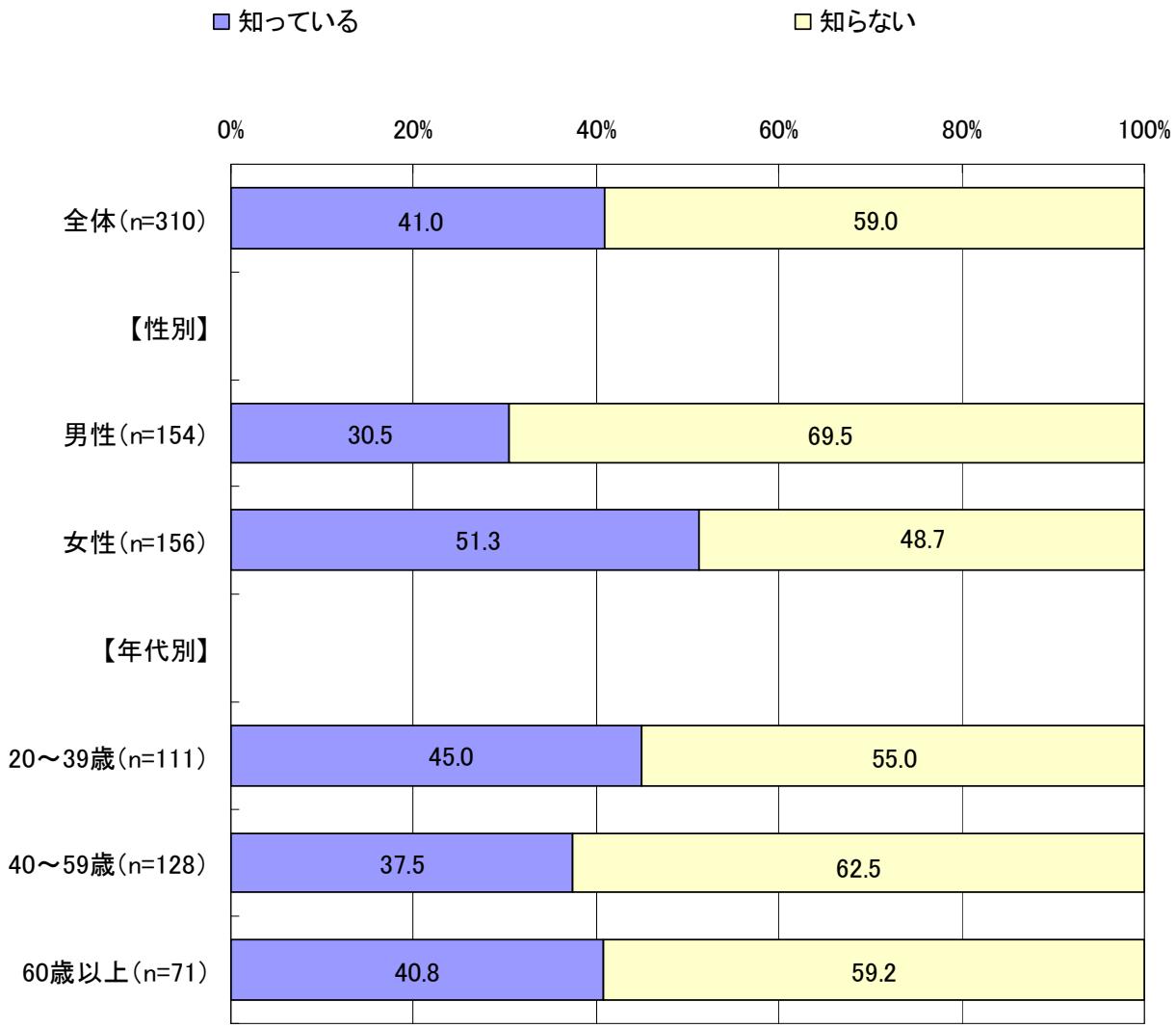
## ２．行政機関が行う相談窓口の認知度

問２：あなたは、新潟県の市町村の行政サービスとして、子ども（０歳から１８歳まで）や子育てについて無料で相談をする場所があることを知っていますか。

ｎ＝３１０人
１　知っている　１２７人　４１．０％
２　知らない　１８３人　５９．０％



【性別・年代別】


知っている
知らない
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=310）
41.0
59.0
【性別】
男性（n=154）
30.5
69.5
女性（n=156）
51.3
48.7
【年代別】
20～39歳（n=111）
45.0
55.0
40～59歳（n=128）
37.5
62.5
60歳以上（n=71）
40.8
59.2

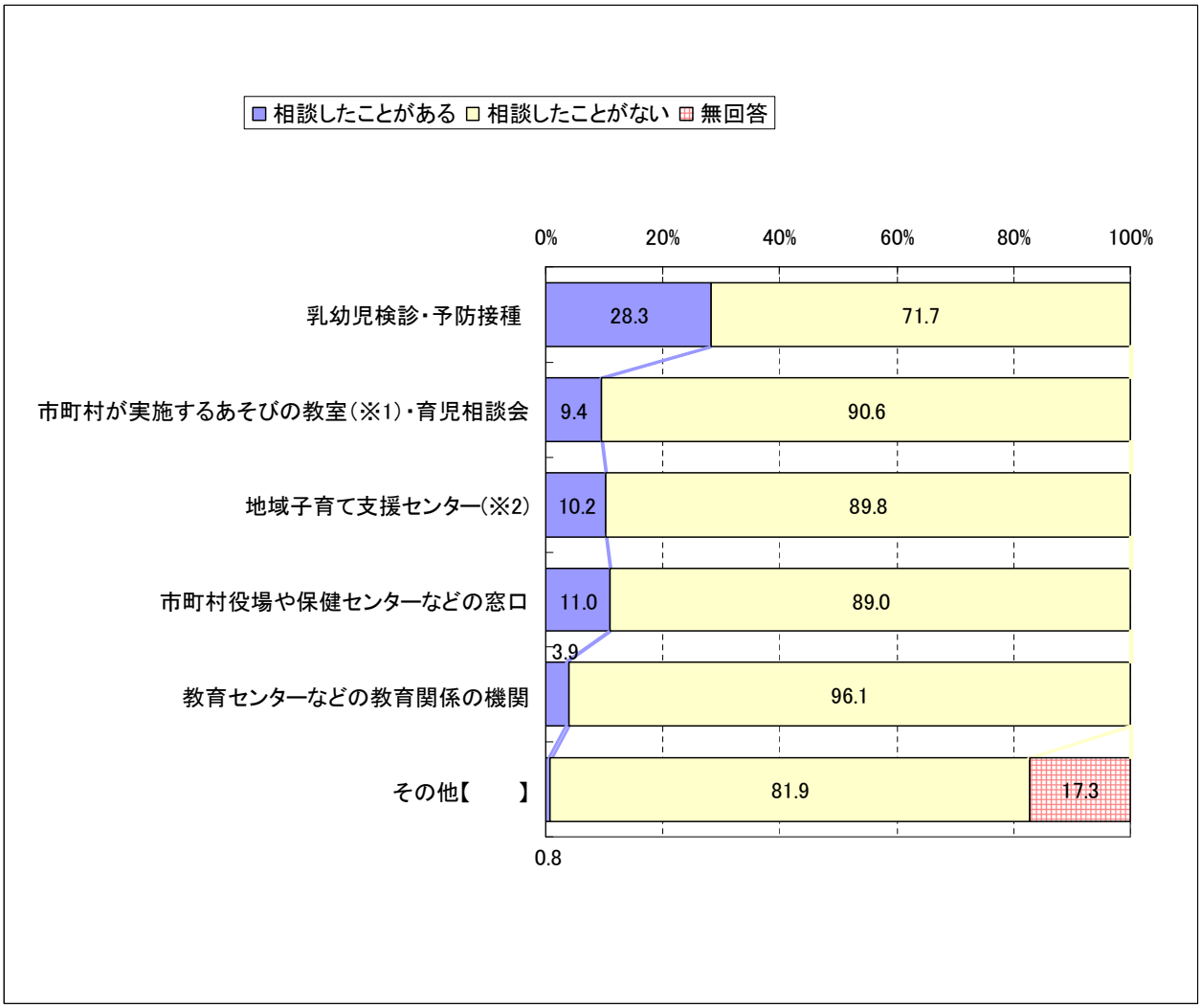
２－付問．相談窓口の活用の有無

＜行政機関が行う相談窓口を知っている方へ＞
問２－付問：あなたは、新潟県の市町村の相談窓口で子育てについて相談をしたことがありますか。

| | | 全体（人） | 1 相談したことがある（人） | 2 相談したことがない（人） | 無回答（人） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 乳幼児検診・予防接種 | 127 | 36 | 91 | 0 |
| 2 | 市町村が実施するあそびの教室（※1）・育児相談会 | 127 | 12 | 115 | 0 |
| 3 | 地域子育て支援センター(※2) | 127 | 13 | 114 | 0 |
| 4 | 市町村役場や保健センターなどの窓口 | 127 | 14 | 113 | 0 |
| 5 | 教育センターなどの教育関係の機関 | 127 | 5 | 122 | 0 |
| 6 | その他 | 127 | 1 | 104 | 22 |

**「あそびの教室（※１）」**
主に乳幼児期の子育て支援を目的として、参加した親子を対象に遊び方の指導を行う事業。

**「地域子育て支援センター（※２）」**
子育て家庭が気軽に利用できる交流の場の提供及び育児についての相談、子育てサークル等への支援を行う施設。保育所に併設されているところが多い。

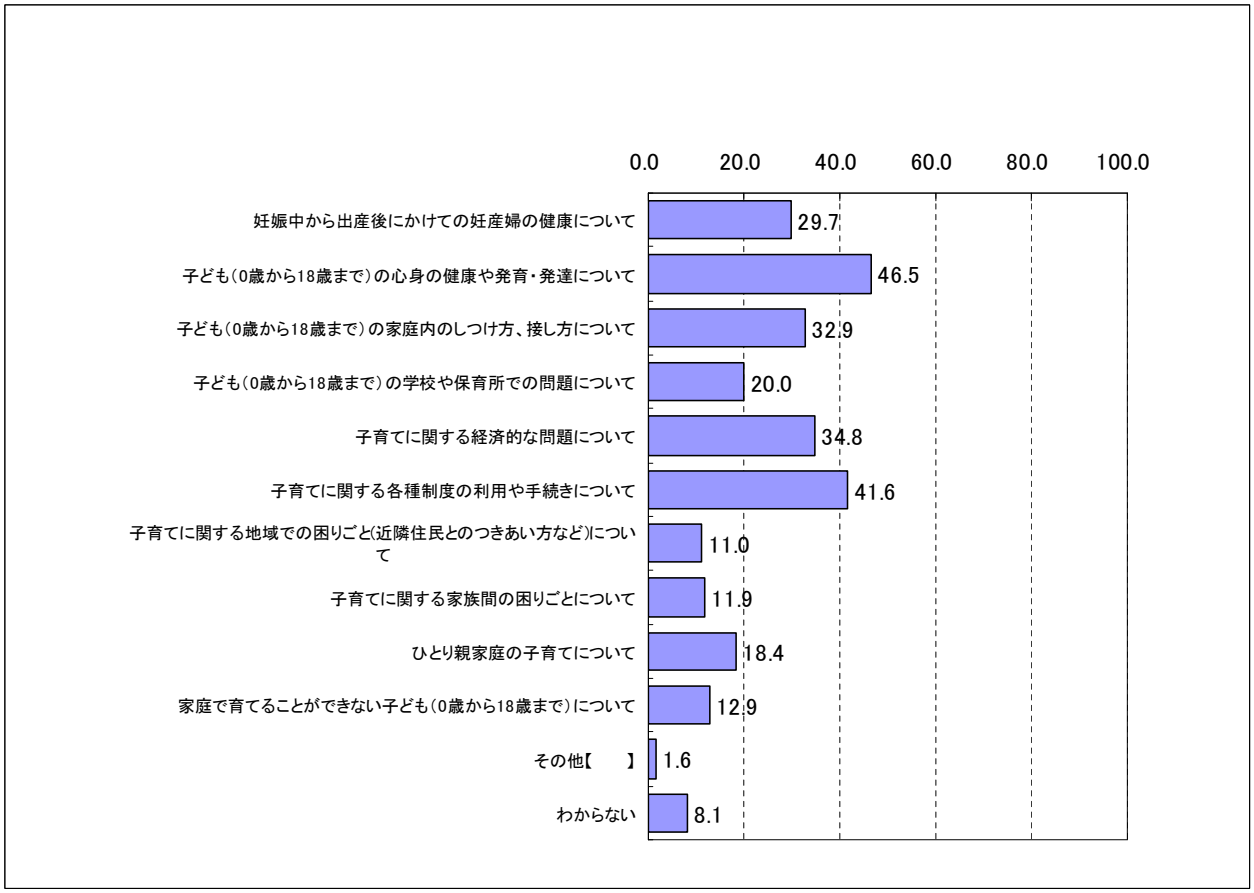

相談したことがある
相談したことがない
無回答
0%
20%
40%
60%
80%
100%
乳幼児検診・予防接種
28.3
71.7
市町村が実施するあそびの教室（※1）・育児相談会
9.4
90.6
地域子育て支援センター（※2）
10.2
89.8
市町村役場や保健センターなどの窓口
11.0
89.0
教育センターなどの教育関係の機関
3.9
96.1
その他【　　】
81.9
17.3
0.8

## ３．市町村の相談窓口が力をいれるべきこと

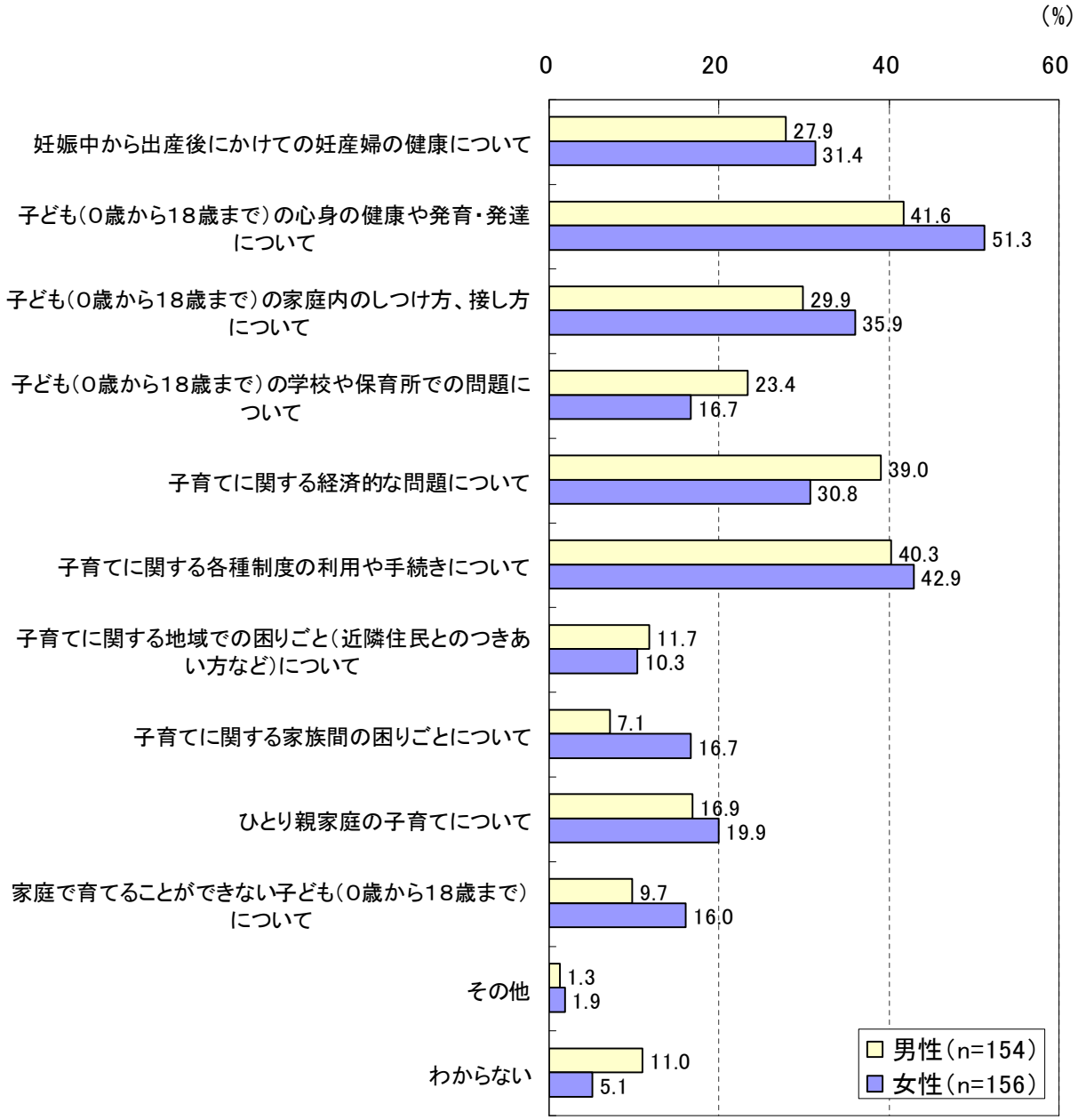
**問３：あなたは、新潟県の市町村の子育てに関する相談窓口では、どのような相談に力をいれるべきだと思いますか。あてはまるものを３つまでお答えください。**

ｎ＝３１０人

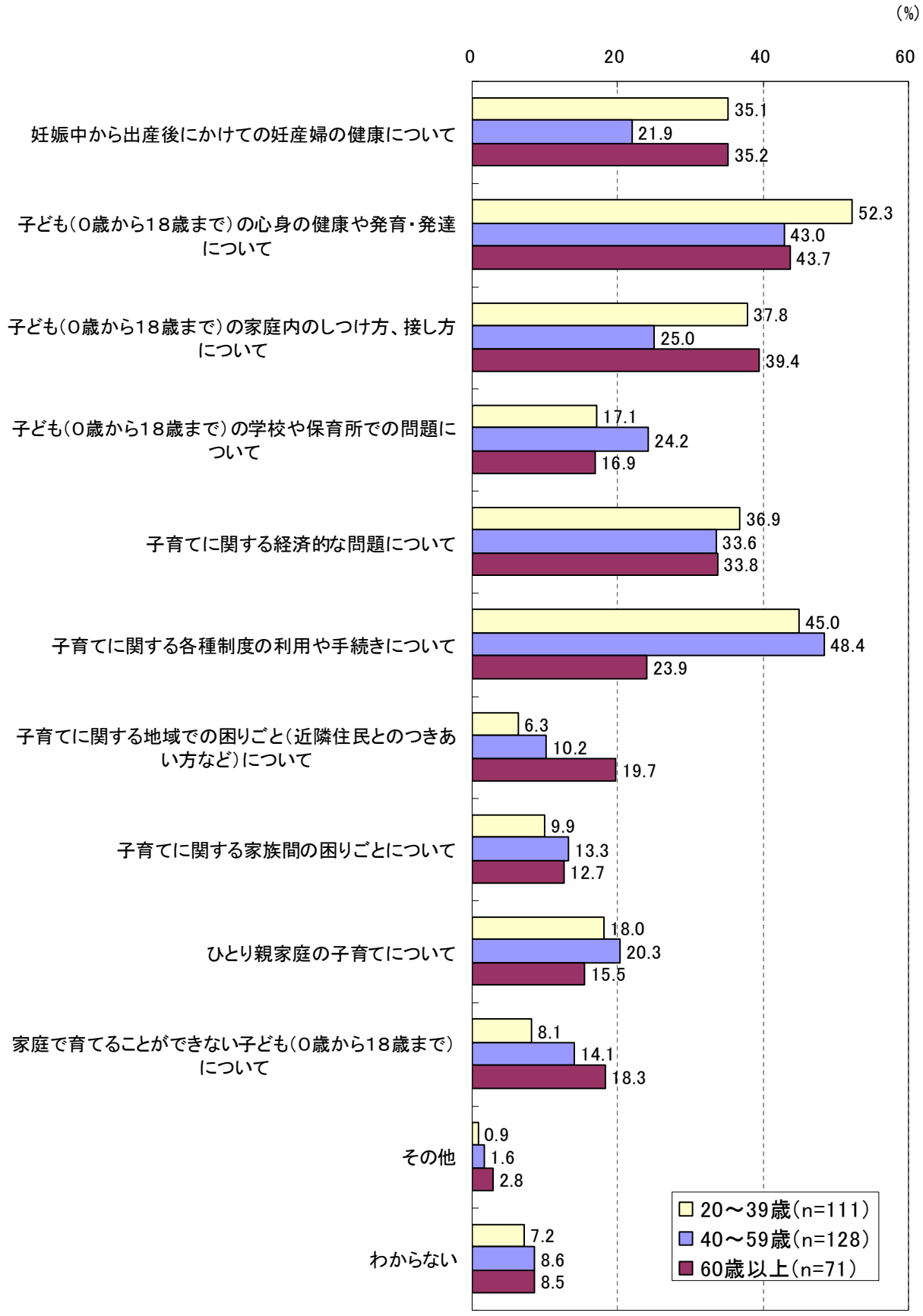
| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 妊娠中から出産後にかけての妊産婦の健康について | ９２人 | ２９．７％ |
| 2 | 子ども（０歳から１８歳まで）の心身の健康や発育・発達について | １４４人 | ４６．５％ |
| 3 | 子ども（０歳から１８歳まで）の家庭内のしつけ方、接し方について | １０２人 | ３２．９％ |
| 4 | 子ども（０歳から１８歳まで）の学校や保育所での問題について | ６２人 | ２０．０％ |
| 5 | 子育てに関する経済的な問題について | １０８人 | ３４．８％ |
| 6 | 子育てに関する各種制度の利用や手続きについて | １２９人 | ４１．６％ |
| 7 | 子育てに関する地域での困りごと（近隣住民とのつきあい方など）について | ３４人 | １１．０％ |
| 8 | 子育てに関する家族間の困りごとについて | ３７人 | １１．９％ |
| 9 | ひとり親家庭の子育てについて | ５７人 | １８．４％ |
| 10 | 家庭で育てることができない子ども（０歳から１８歳まで）について | ４０人 | １２．９％ |
| 11 | その他 | ５人 | １．６％ |
| 12 | わからない | ２５人 | ８．１％ |



【性別】


(%)
0
20
40
60
妊娠中から出産後にかけての妊産婦の健康について
27.9
31.4
子ども(0歳から18歳まで)の心身の健康や発育・発達について
41.6
51.3
子ども(0歳から18歳まで)の家庭内のしつけ方、接し方について
29.9
35.9
子ども(0歳から18歳まで)の学校や保育所での問題について
23.4
16.7
子育てに関する経済的な問題について
39.0
30.8
子育てに関する各種制度の利用や手続きについて
40.3
42.9
子育てに関する地域での困りごと(近隣住民とのつきあい方など)について
11.7
10.3
子育てに関する家族間の困りごとについて
7.1
16.7
ひとり親家庭の子育てについて
16.9
19.9
家庭で育てることができない子ども(0歳から18歳まで)について
9.7
16.0
その他
1.3
1.9
わからない
11.0
5.1
男性(n=154)
女性(n=156)

【年代別】

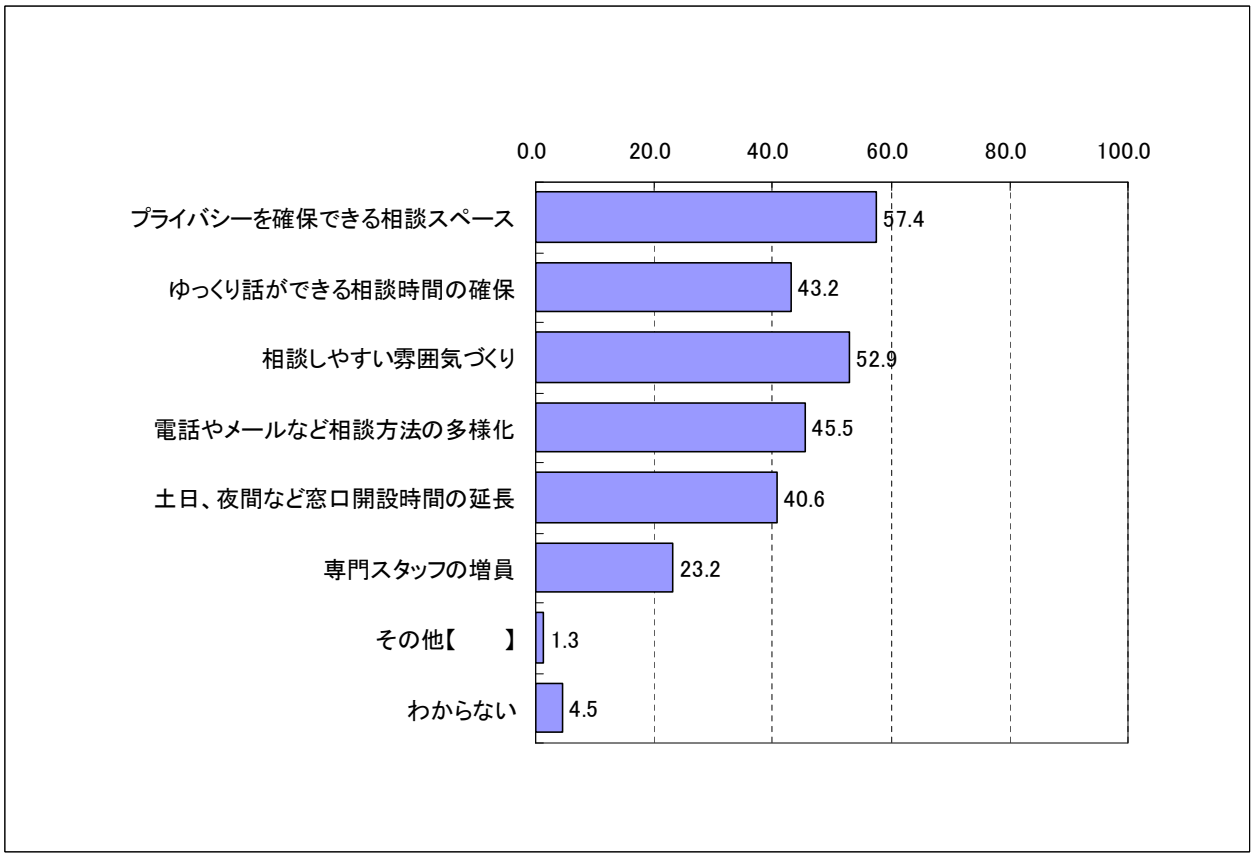

(%)
0
20
40
60
妊娠中から出産後にかけての妊産婦の健康について
35.1
21.9
35.2
子ども(0歳から18歳まで)の心身の健康や発育・発達について
52.3
43.0
43.7
子ども(0歳から18歳まで)の家庭内のしつけ方、接し方について
37.8
25.0
39.4
子ども(0歳から18歳まで)の学校や保育所での問題について
17.1
24.2
16.9
子育てに関する経済的な問題について
36.9
33.6
33.8
子育てに関する各種制度の利用や手続きについて
45.0
48.4
23.9
子育てに関する地域での困りごと(近隣住民とのつきあい方など)について
6.3
10.2
19.7
子育てに関する家族間の困りごとについて
9.9
13.3
12.7
ひとり親家庭の子育てについて
18.0
20.3
15.5
家庭で育てることができない子ども(0歳から18歳まで)について
8.1
14.1
18.3
その他
0.9
1.6
2.8
わからない
7.2
8.6
8.5
20～39歳(n=111)
40～59歳(n=128)
60歳以上(n=71)

## ４．市町村の相談窓口で相談をしやすくするために必要なこと

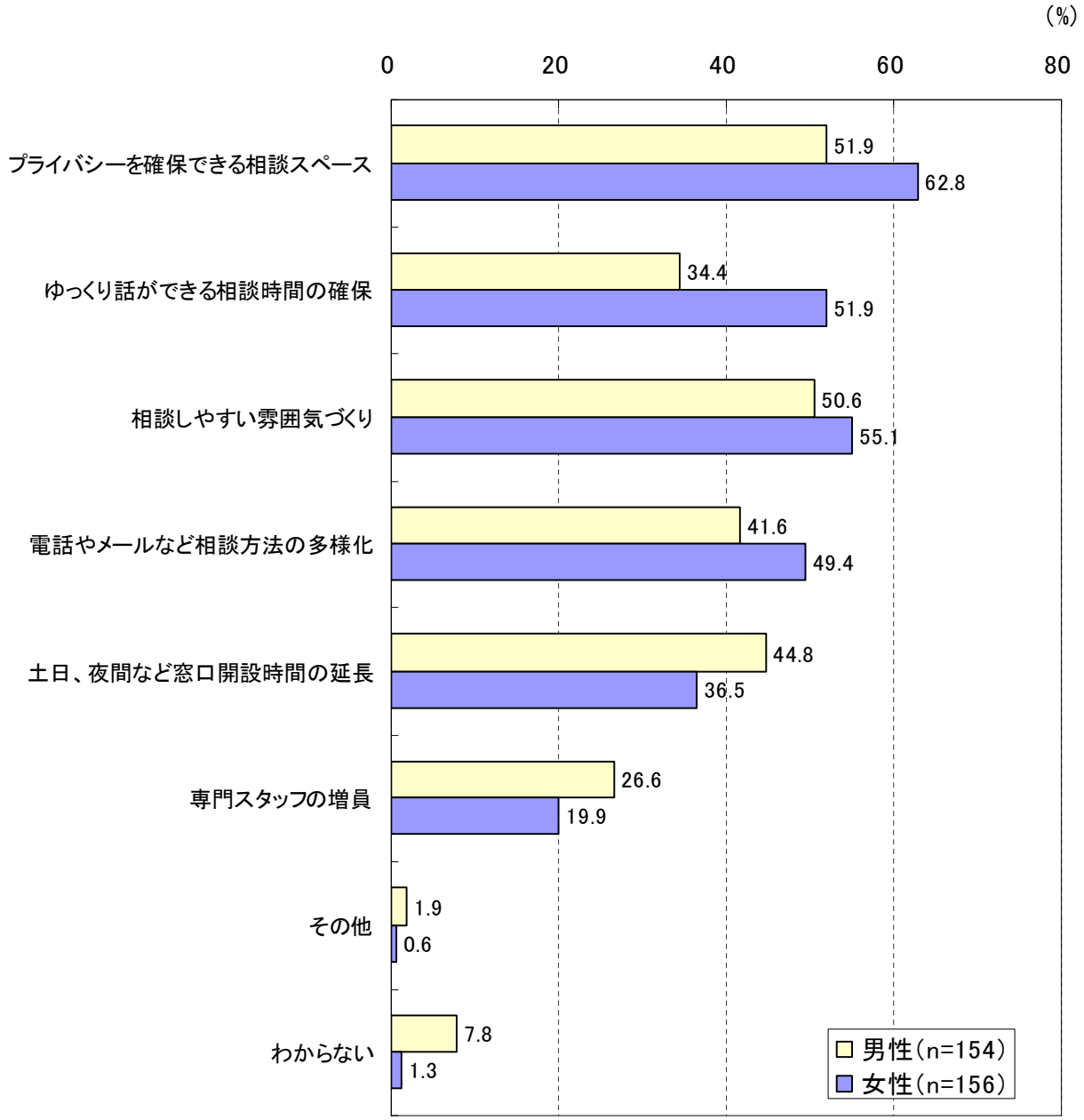
問４：あなたは、新潟県の市町村の相談窓口で子育てについて相談をしやすくするためには、何が必要だと思いますか。あてはまるものを３つまでお答えください。

ｎ＝３１０人

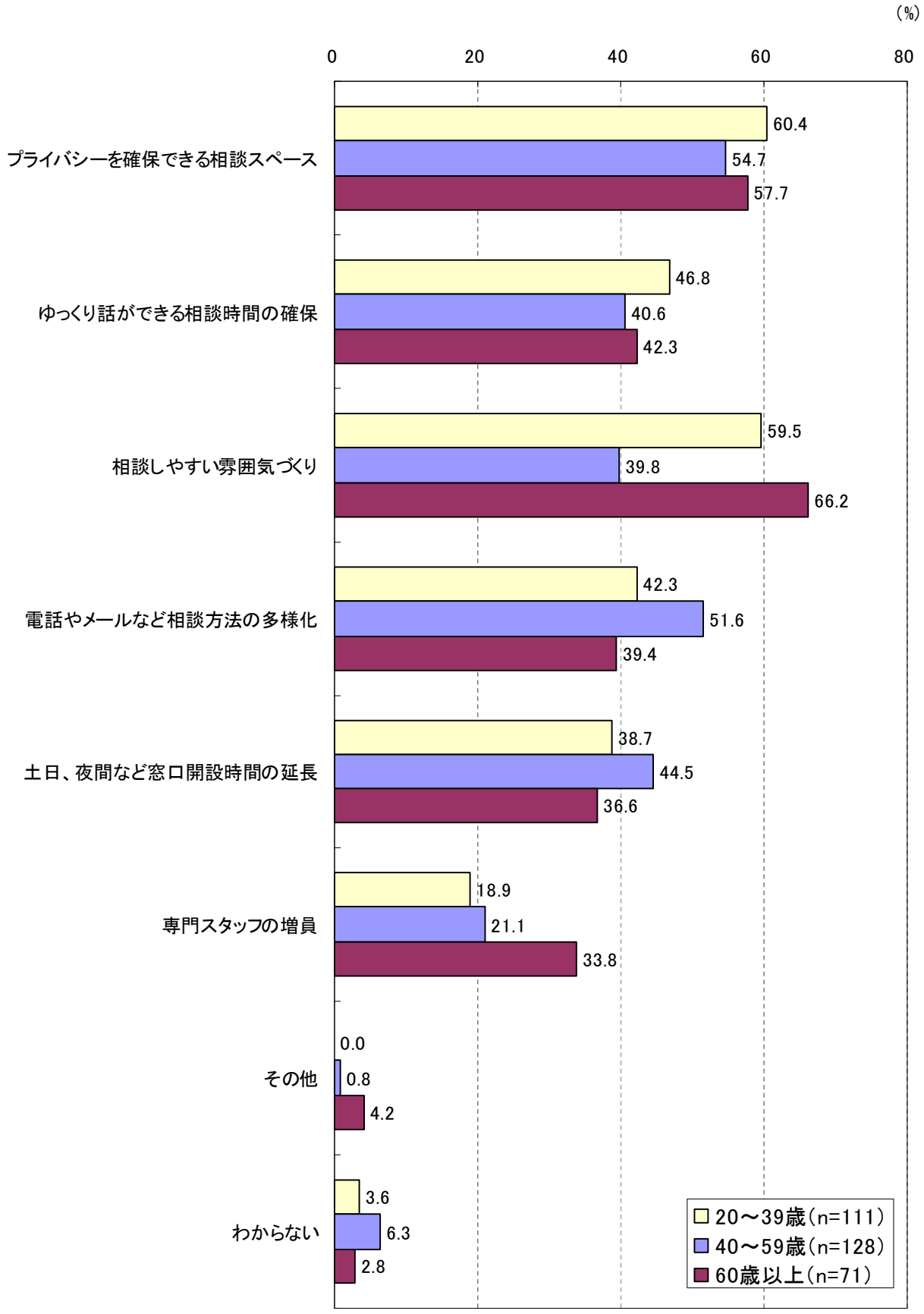
| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | プライバシーを確保できる相談スペース | １７８人 | ５７．４％ |
| ２ | ゆっくり話ができる相談時間の確保 | １３４人 | ４３．２％ |
| ３ | 相談しやすい雰囲気づくり | １６４人 | ５２．９％ |
| ４ | 電話やメールなど相談方法の多様化 | １４１人 | ４５．５％ |
| ５ | 土日、夜間など窓口開設時間の延長 | １２６人 | ４０．６％ |
| ６ | 専門スタッフの増員 | ７２人 | ２３．２％ |
| ７ | その他 | ４人 | １．３％ |
| ８ | わからない | １４人 | ４．５％ |



【性別】


(%)
0
20
40
60
80
プライバシーを確保できる相談スペース
51.9
62.8
ゆっくり話ができる相談時間の確保
34.4
51.9
相談しやすい雰囲気づくり
50.6
55.1
電話やメールなど相談方法の多様化
41.6
49.4
土日、夜間など窓口開設時間の延長
44.8
36.5
専門スタッフの増員
26.6
19.9
その他
1.9
0.6
わからない
7.8
1.3
男性(n=154)
女性(n=156)

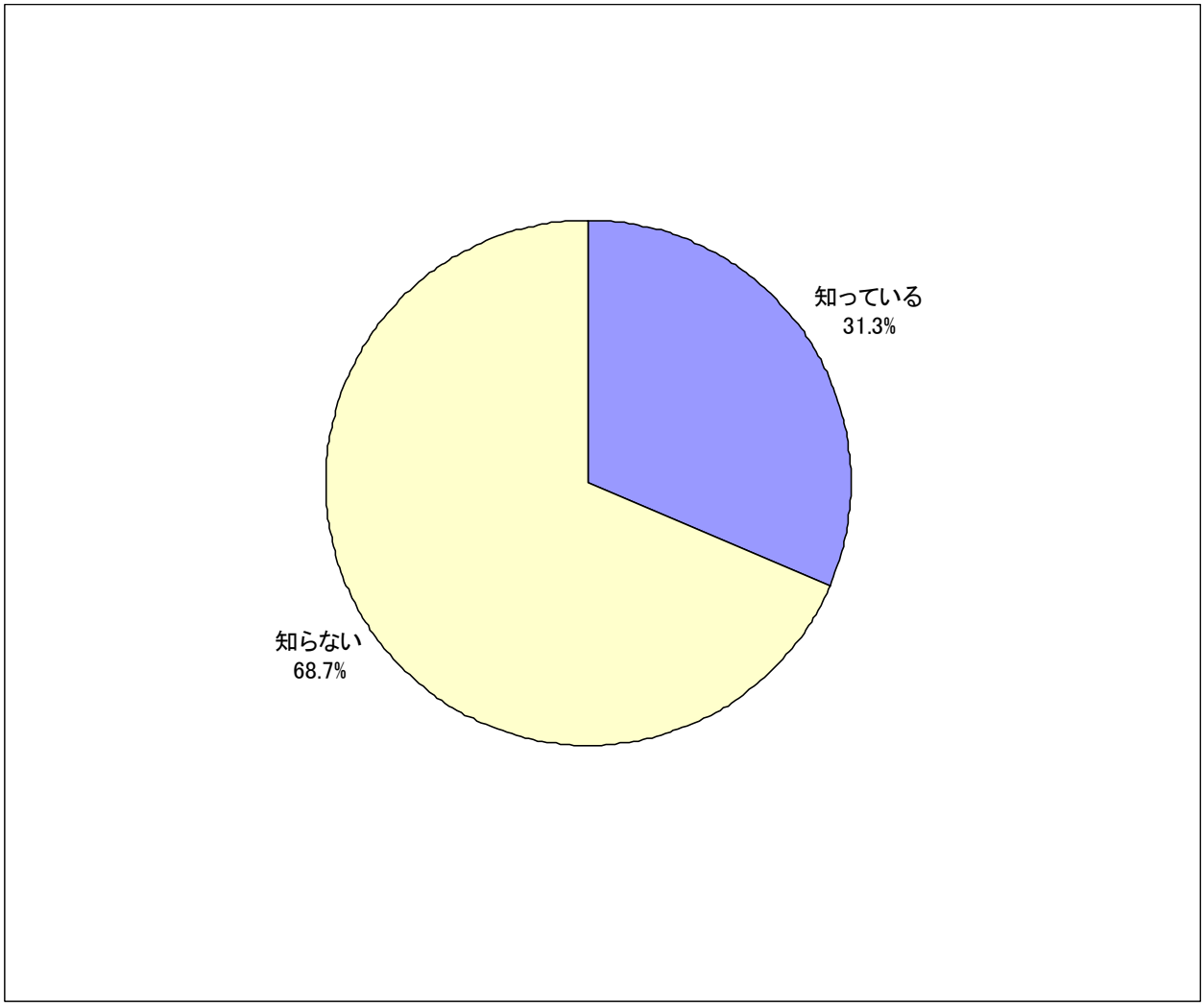
【年代別】


(%)
0
20
40
60
80
プライバシーを確保できる相談スペース
60.4
54.7
57.7
ゆっくり話ができる相談時間の確保
46.8
40.6
42.3
相談しやすい雰囲気づくり
59.5
39.8
66.2
電話やメールなど相談方法の多様化
42.3
51.6
39.4
土日、夜間など窓口開設時間の延長
38.7
44.5
36.6
専門スタッフの増員
18.9
21.1
33.8
その他
0.0
0.8
4.2
わからない
3.6
6.3
2.8
20～39歳(n=111)
40～59歳(n=128)
60歳以上(n=71)

## ５．児童相談所の相談窓口の認知度

**問５：あなたは、新潟県の行政サービスとして、児童相談所（※）で子ども（０歳から１８歳まで）や子育てについて無料で相談ができることを知っていますか。**

ｎ＝３１０人
１　知っている　　９７人　３１．３％
２　知らない　　２１３人　６８．７％

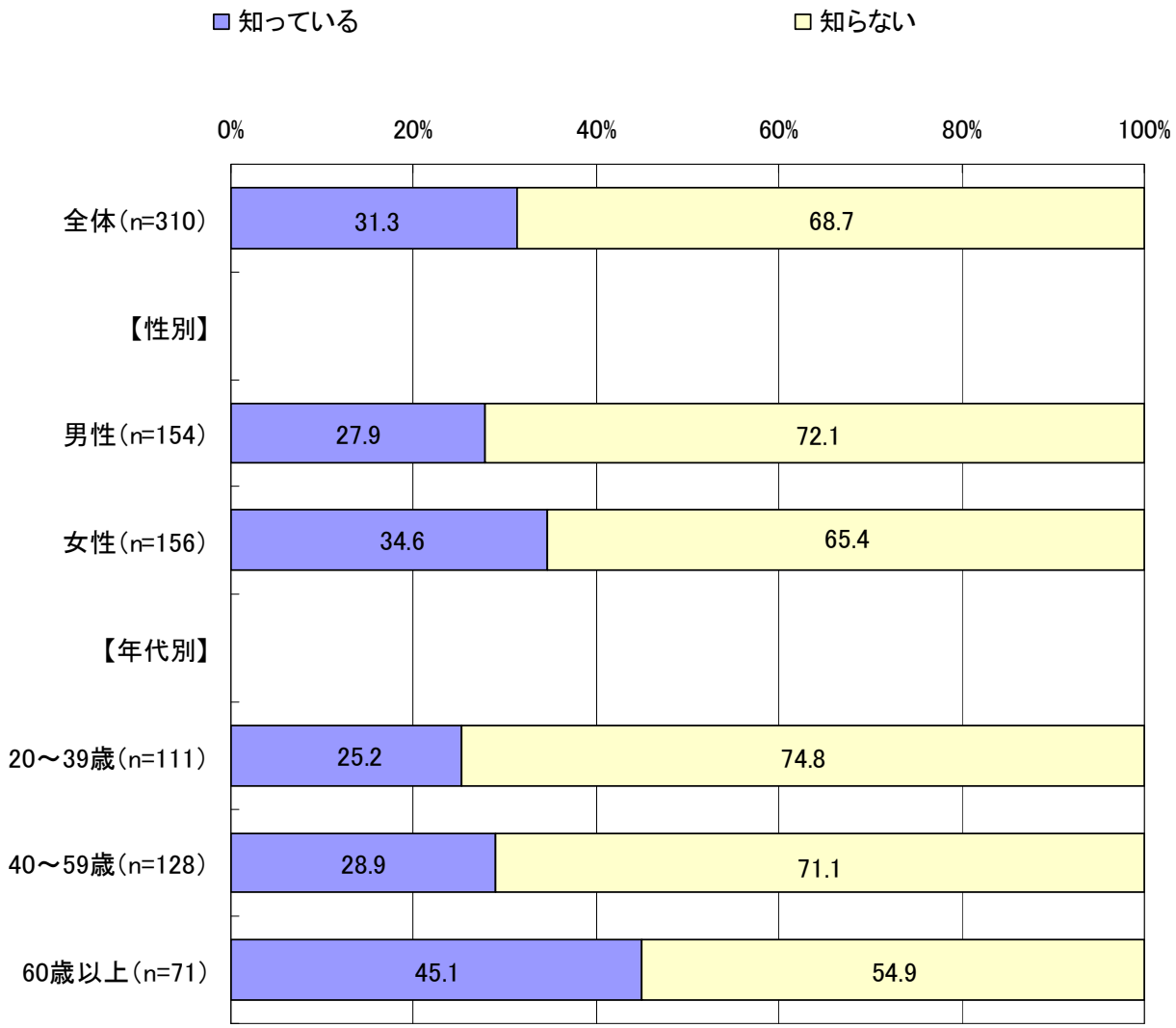



**「児童相談所（※）」**

児童福祉法に基づき県や政令指定都市が設置する相談機関で、０歳から１８歳までの子どもに関するあらゆる問題の相談に応じている。

新潟県内には、①中央児童相談所（新潟市江南区）、②新発田児童相談所（新発田市）、③長岡児童相談所（長岡市）、④南魚沼児童相談所（南魚沼市）、⑤上越児童相談所（上越市）、⑥新潟市児童相談所（新潟市中央区）の６か所がある。

【性別・年代別】

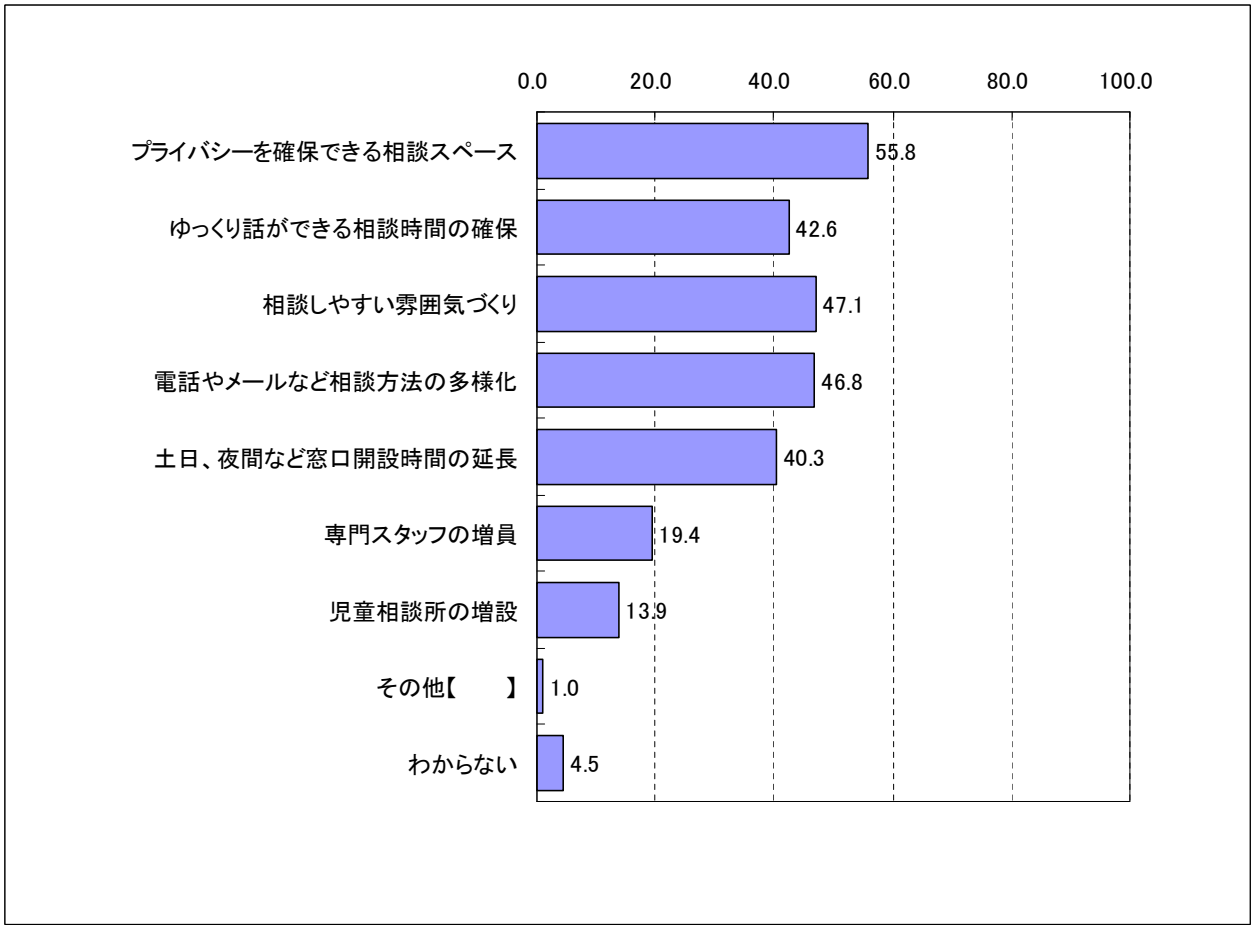

知っている
知らない
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=310）
31.3
68.7
【性別】
男性（n=154）
27.9
72.1
女性（n=156）
34.6
65.4
【年代別】
20～39歳（n=111）
25.2
74.8
40～59歳（n=128）
28.9
71.1
60歳以上（n=71）
45.1
54.9

## ６．児童相談所で相談をしやすくするために必要なこと

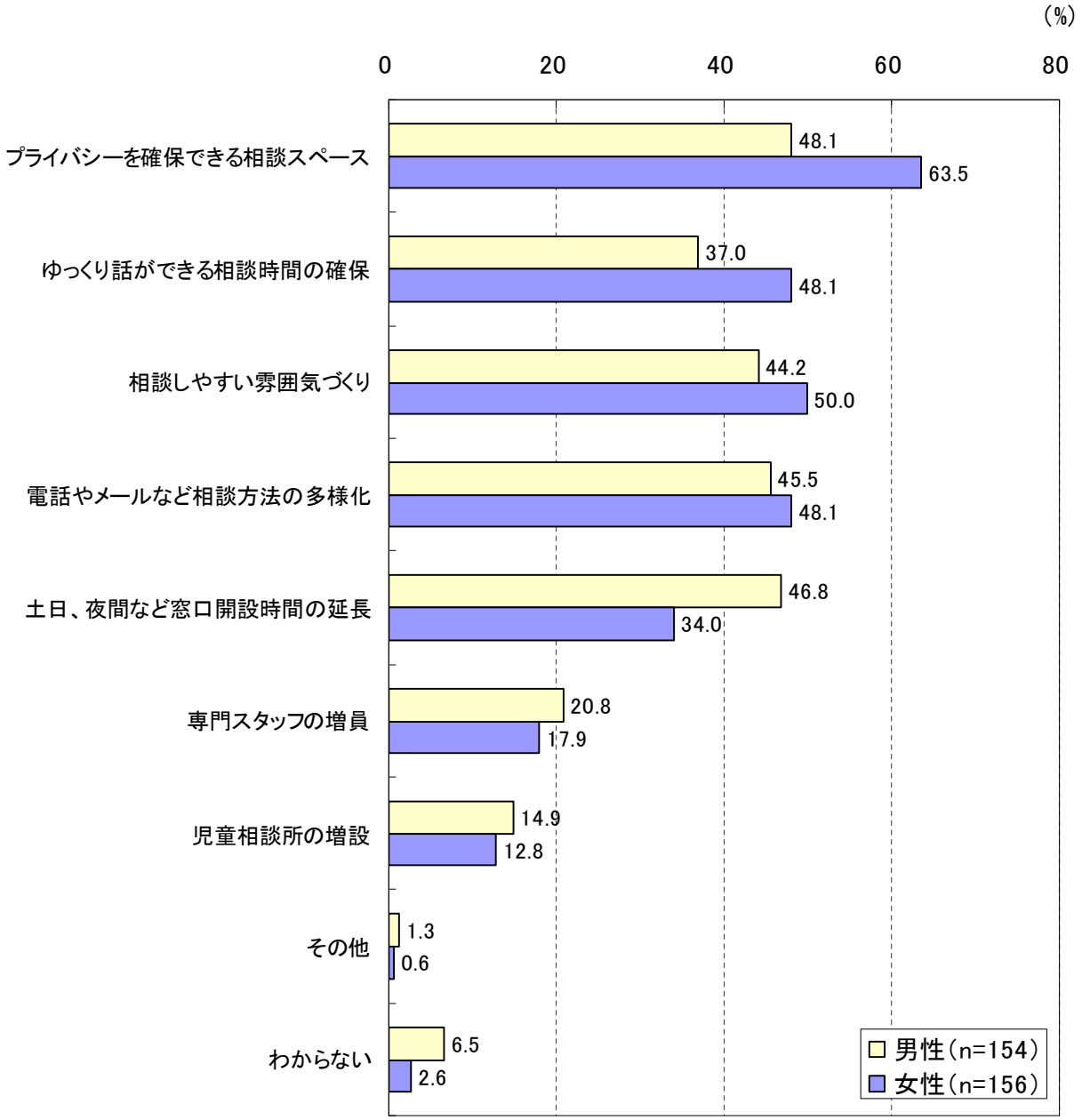
問６：児童相談所で、相談をしやすくするためには何が必要だと思いますか。あてはまるものを３つまでお答えください。

ｎ＝３１０人

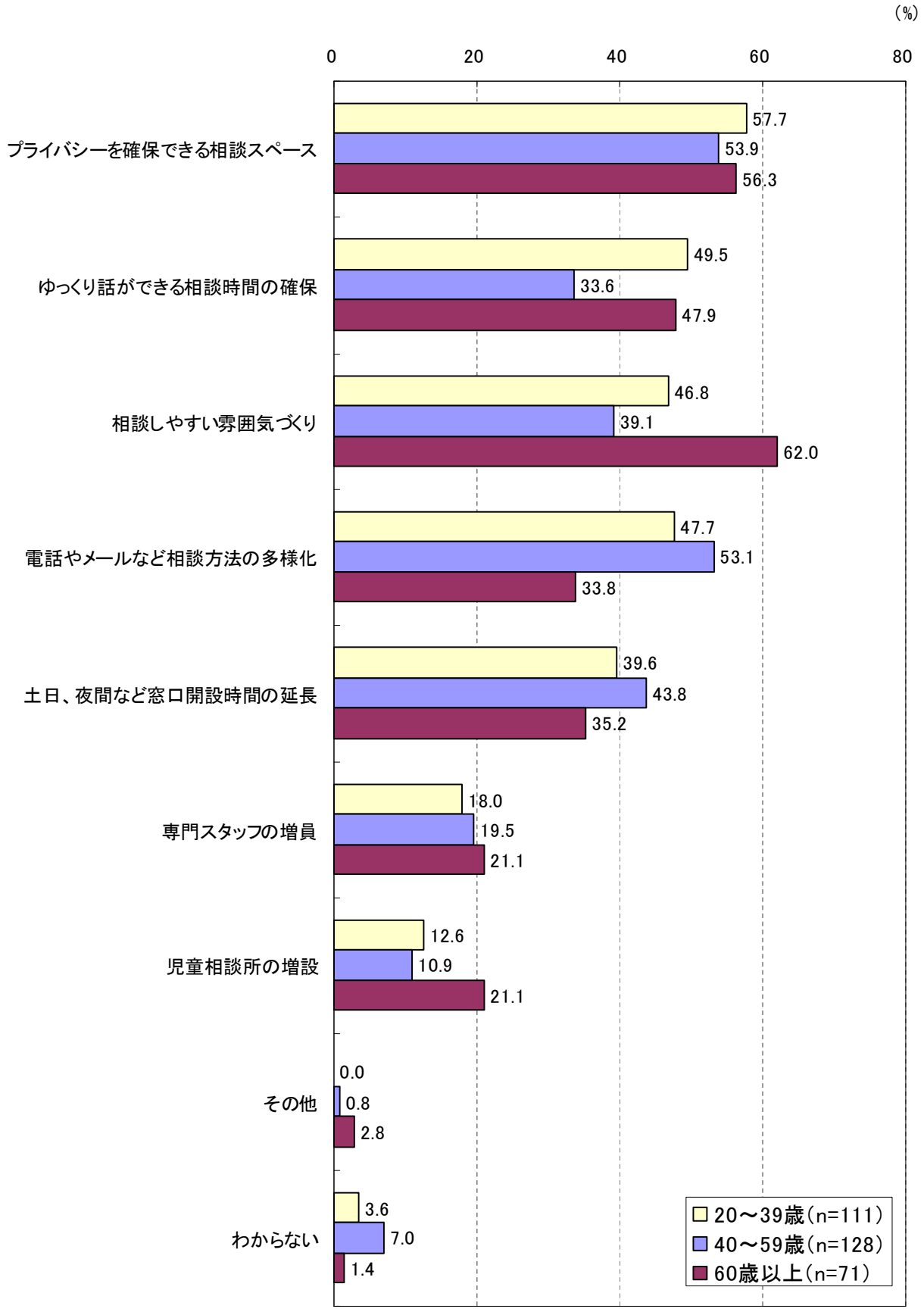
| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | プライバシーを確保できる相談スペース | １７３人 | ５５．８％ |
| 2 | ゆっくり話ができる相談時間の確保 | １３２人 | ４２．６％ |
| 3 | 相談しやすい雰囲気づくり | １４６人 | ４７．１％ |
| 4 | 電話やメールなど相談方法の多様化 | １４５人 | ４６．８％ |
| 5 | 土日、夜間など窓口開設時間の延長 | １２５人 | ４０．３％ |
| 6 | 専門スタッフの増員 | ６０人 | １９．４％ |
| 7 | 児童相談所の増設 | ４３人 | １３．９％ |
| 8 | その他 | ３人 | １．０％ |
| 9 | わからない | １４人 | ４．５％ |



【性別】


(%)
0
20
40
60
80
プライバシーを確保できる相談スペース
48.1
63.5
ゆっくり話ができる相談時間の確保
37.0
48.1
相談しやすい雰囲気づくり
44.2
50.0
電話やメールなど相談方法の多様化
45.5
48.1
土日、夜間など窓口開設時間の延長
46.8
34.0
専門スタッフの増員
20.8
17.9
児童相談所の増設
14.9
12.8
その他
1.3
0.6
わからない
6.5
2.6
男性(n=154)
女性(n=156)

【年代別】

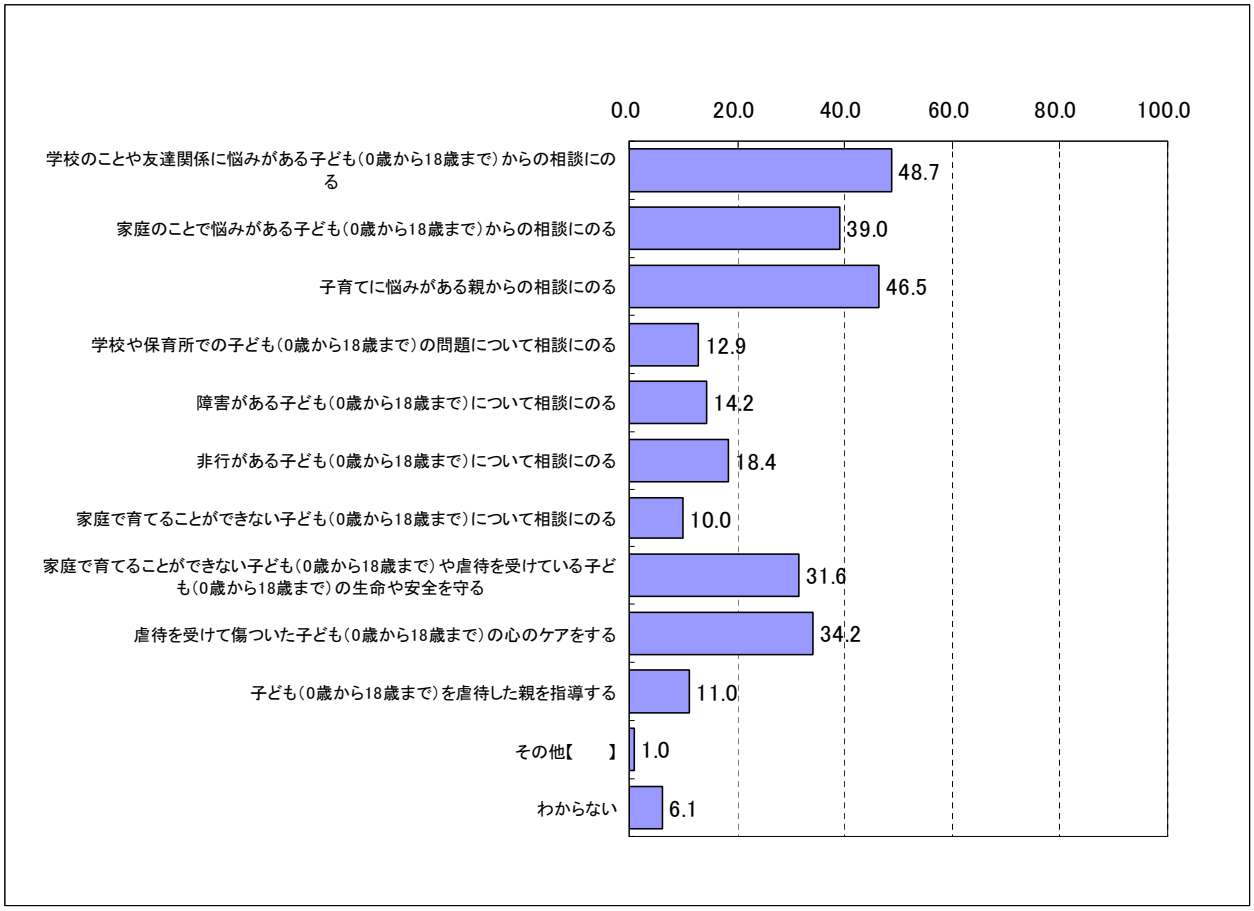

(%)
0
20
40
60
80
プライバシーを確保できる相談スペース
57.7
53.9
56.3
ゆっくり話ができる相談時間の確保
49.5
33.6
47.9
相談しやすい雰囲気づくり
46.8
39.1
62.0
電話やメールなど相談方法の多様化
47.7
53.1
33.8
土日、夜間など窓口開設時間の延長
39.6
43.8
35.2
専門スタッフの増員
18.0
19.5
21.1
児童相談所の増設
12.6
10.9
21.1
その他
0.0
0.8
2.8
わからない
3.6
7.0
1.4
20～39歳(n=111)
40～59歳(n=128)
60歳以上(n=71)

## ７．児童相談所が力をいれるべきこと

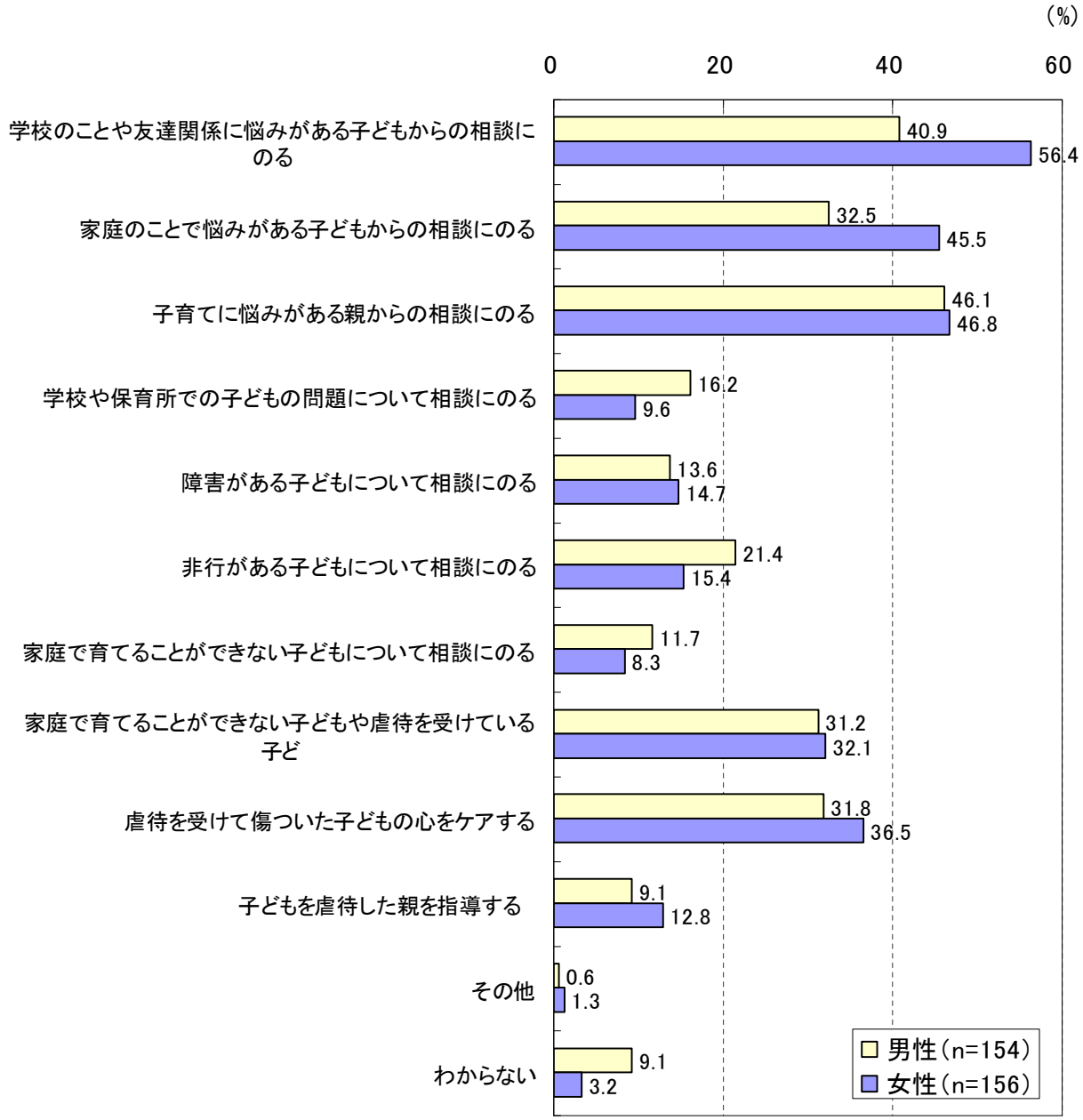
問７：児童相談所は、どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。あてはまるものを３つまでお答えください。

ｎ＝３１０人（子どもとは、０歳から１８歳まで）

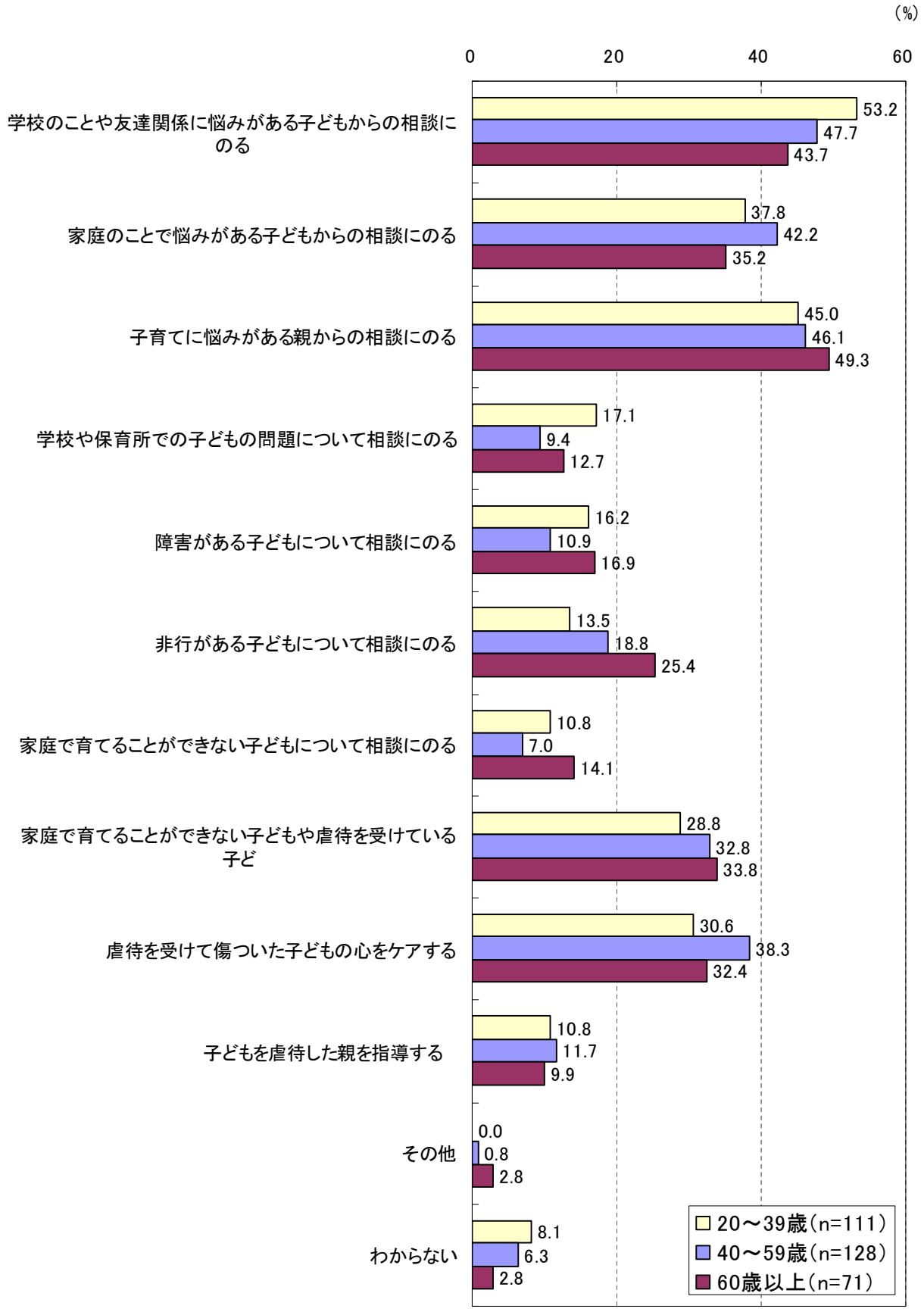
| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 学校のことや友達関係に悩みがある子どもからの相談にのる | １５１人 | ４８．７％ |
| 2 | 家庭のことで悩みがある子どもからの相談にのる | １２１人 | ３９．０％ |
| 3 | 子育てに悩みがある親からの相談にのる | １４４人 | ４６．５％ |
| 4 | 学校や保育所での子どもの問題について相談にのる | ４０人 | １２．９％ |
| 5 | 障害がある子どもについて相談にのる | ４４人 | １４．２％ |
| 6 | 非行がある子どもについて相談にのる | ５７人 | １８．４％ |
| 7 | 家庭で育てることができない子どもについて相談にのる | ３１人 | １０．０％ |
| 8 | 家庭で育てることができない子どもや虐待を受けている子どもの生命や安全を守る | ９８人 | ３１．６％ |
| 9 | 虐待を受けて傷ついた子どもの心をケアする | １０６人 | ３４．２％ |
| 10 | 子どもを虐待した親を指導する | ３４人 | １１．０％ |
| 11 | その他 | ３人 | １．０％ |
| 12 | わからない | １９人 | ６．１％ |



【性別】


(%)
0
20
40
60
学校のことや友達関係に悩みがある子どもからの相談にのる
40.9
56.4
家庭のことで悩みがある子どもからの相談にのる
32.5
45.5
子育てに悩みがある親からの相談にのる
46.1
46.8
学校や保育所での子どもの問題について相談にのる
16.2
9.6
障害がある子どもについて相談にのる
13.6
14.7
非行がある子どもについて相談にのる
21.4
15.4
家庭で育てることができない子どもについて相談にのる
11.7
8.3
家庭で育てることができない子どもや虐待を受けている子ど
31.2
32.1
虐待を受けて傷ついた子どもの心をケアする
31.8
36.5
子どもを虐待した親を指導する
9.1
12.8
その他
0.6
1.3
わからない
9.1
3.2
男性(n=154)
女性(n=156)

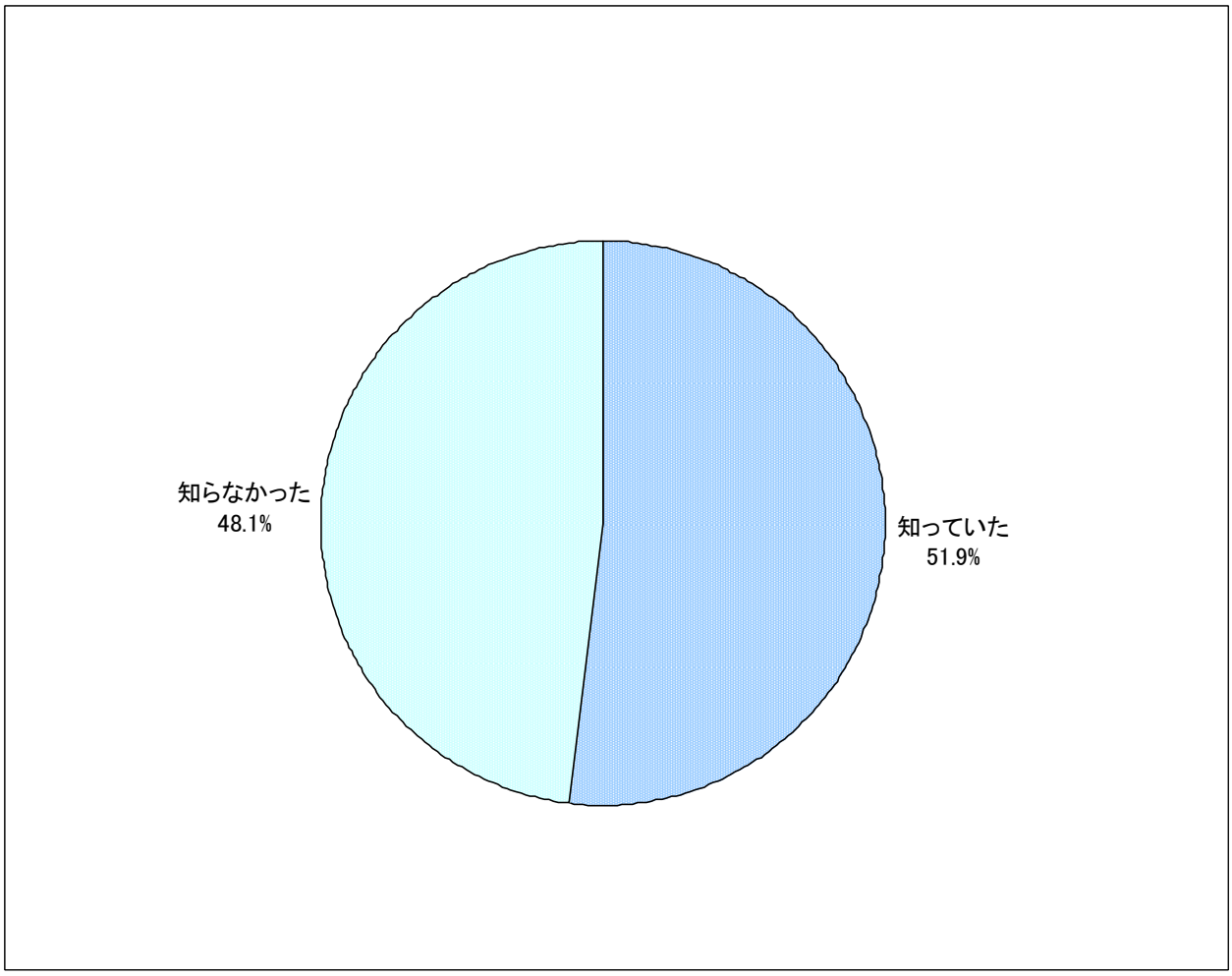
【年代別】


(%)
0
20
40
60
学校のことや友達関係に悩みがある子どもからの相談にのる
53.2
47.7
43.7
家庭のことで悩みがある子どもからの相談にのる
37.8
42.2
35.2
子育てに悩みがある親からの相談にのる
45.0
46.1
49.3
学校や保育所での子どもの問題について相談にのる
17.1
9.4
12.7
障害がある子どもについて相談にのる
16.2
10.9
16.9
非行がある子どもについて相談にのる
13.5
18.8
25.4
家庭で育てることができない子どもについて相談にのる
10.8
7.0
14.1
家庭で育てることができない子どもや虐待を受けている子ど
28.8
32.8
33.8
虐待を受けて傷ついた子どもの心をケアする
30.6
38.3
32.4
子どもを虐待した親を指導する
10.8
11.7
9.9
その他
0.0
0.8
2.8
わからない
8.1
6.3
2.8
20～39歳(n=111)
40～59歳(n=128)
60歳以上(n=71)

## ８．「児童虐待の防止等に関する法律」第６条について

問８：「児童虐待の防止等に関する法律」第６条では、児童虐待が疑われる場合、市町村または児童相談所に通告（相談）することが国民の義務として規定されています。あなたは、このことを知っていましたか。
※通告しない場合の罰則規定はありません。

ｎ＝３１０人
１　知っていた　　１６１人　５１．９％
２　知らなかった　１４９人　４８．１％

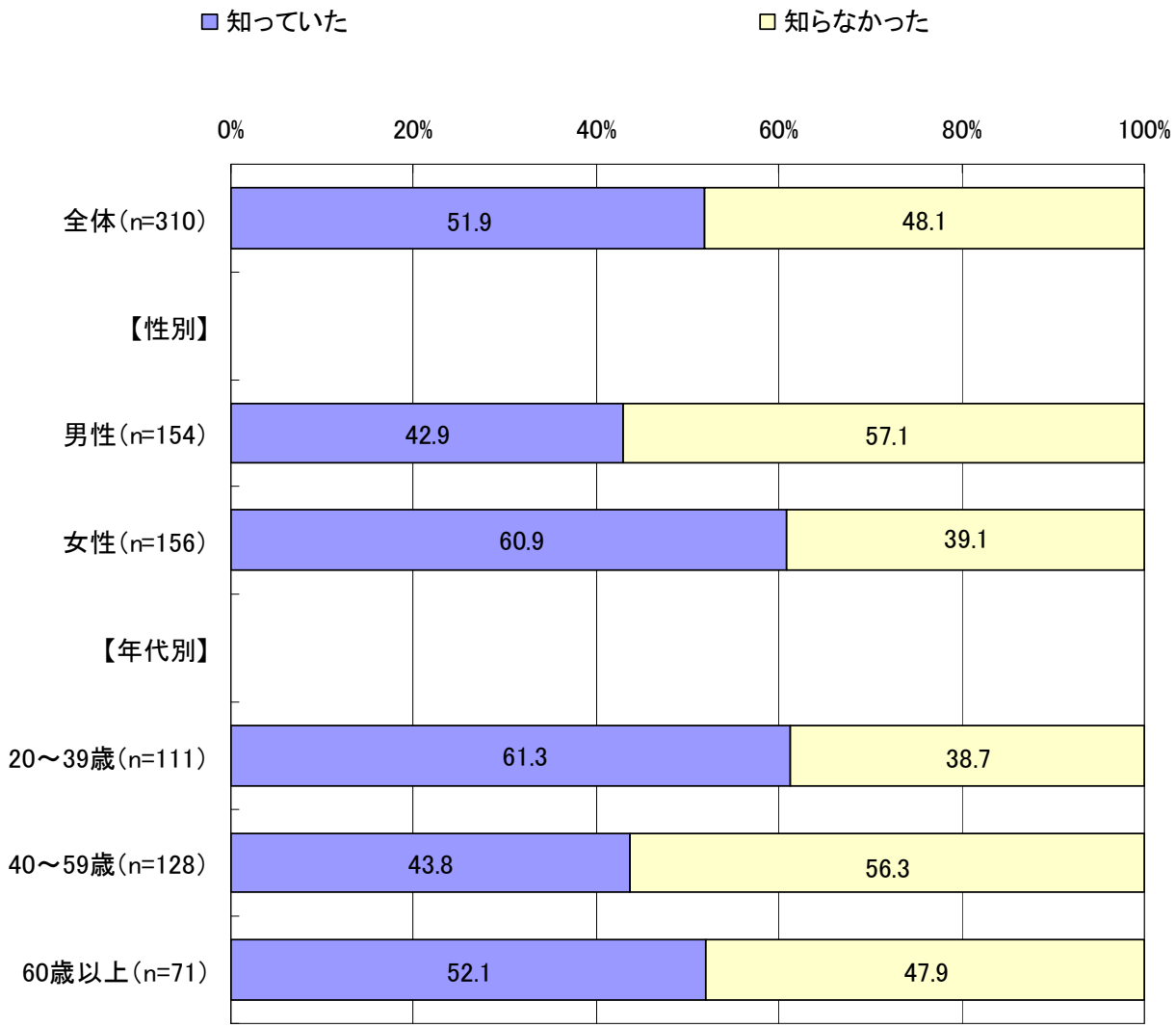



**「児童虐待」**

保護者が子ども（０歳から１８歳まで）の心や身体を傷つけることにより、その健やかな成長や発達に悪い影響を与える行為のこと。以下の４つに分類される。

① 身体的虐待（なぐる、蹴る、やけどを負わせるなど）
② 養育の怠慢・拒否【ネグレクト】
（食事を与えない、家に閉じこめる、ひどく不潔にするなど）
③ 心理的虐待（言葉による脅迫、無視など）
④ 性的虐待（性的行為の強要、性器や性交を見せるなど）

【性別・年代別】

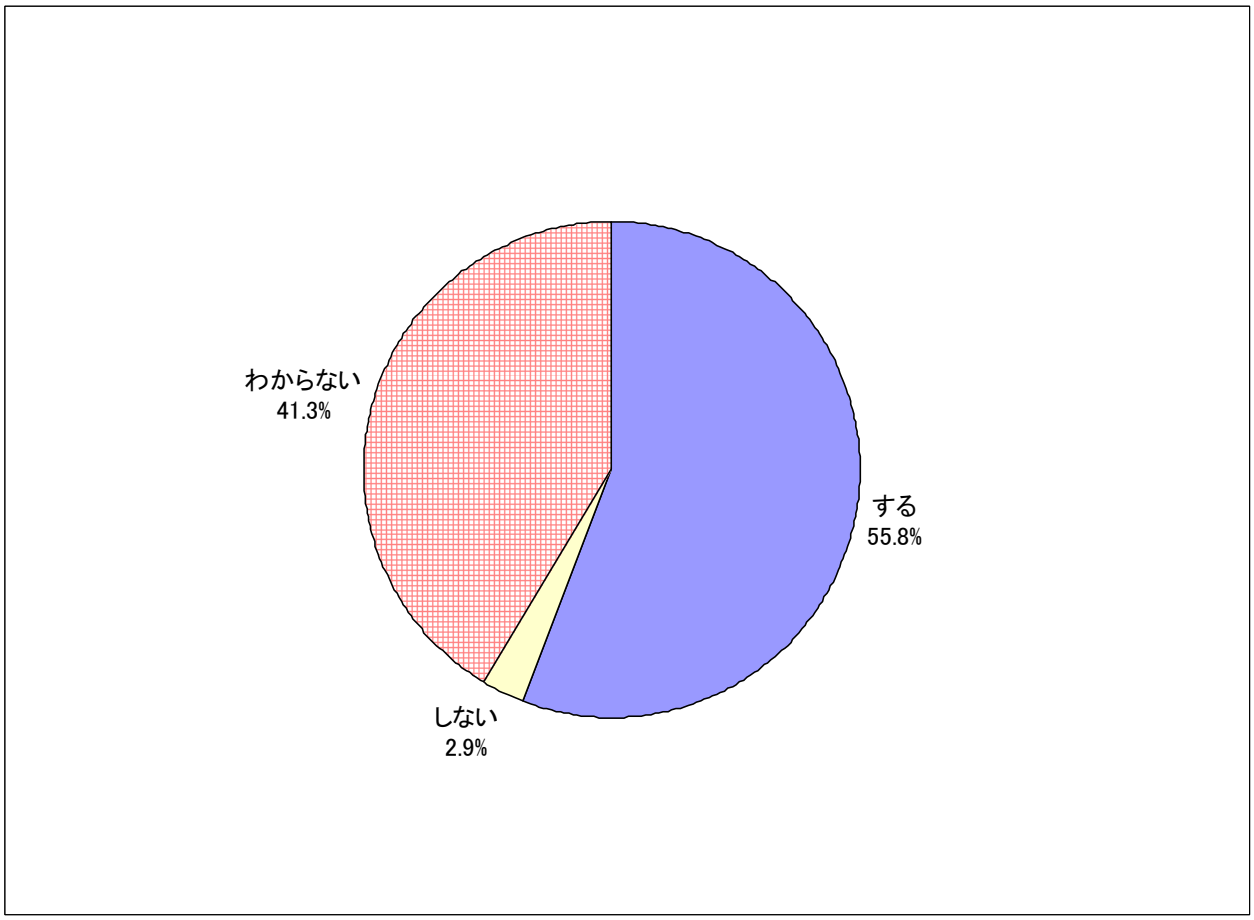

知っていた
知らなかった
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=310）
51.9
48.1
【性別】
男性（n=154）
42.9
57.1
女性（n=156）
60.9
39.1
【年代別】
20～39歳（n=111）
61.3
38.7
40～59歳（n=128）
43.8
56.3
60歳以上（n=71）
52.1
47.9

## ９．児童虐待の通告（相談）について（１）

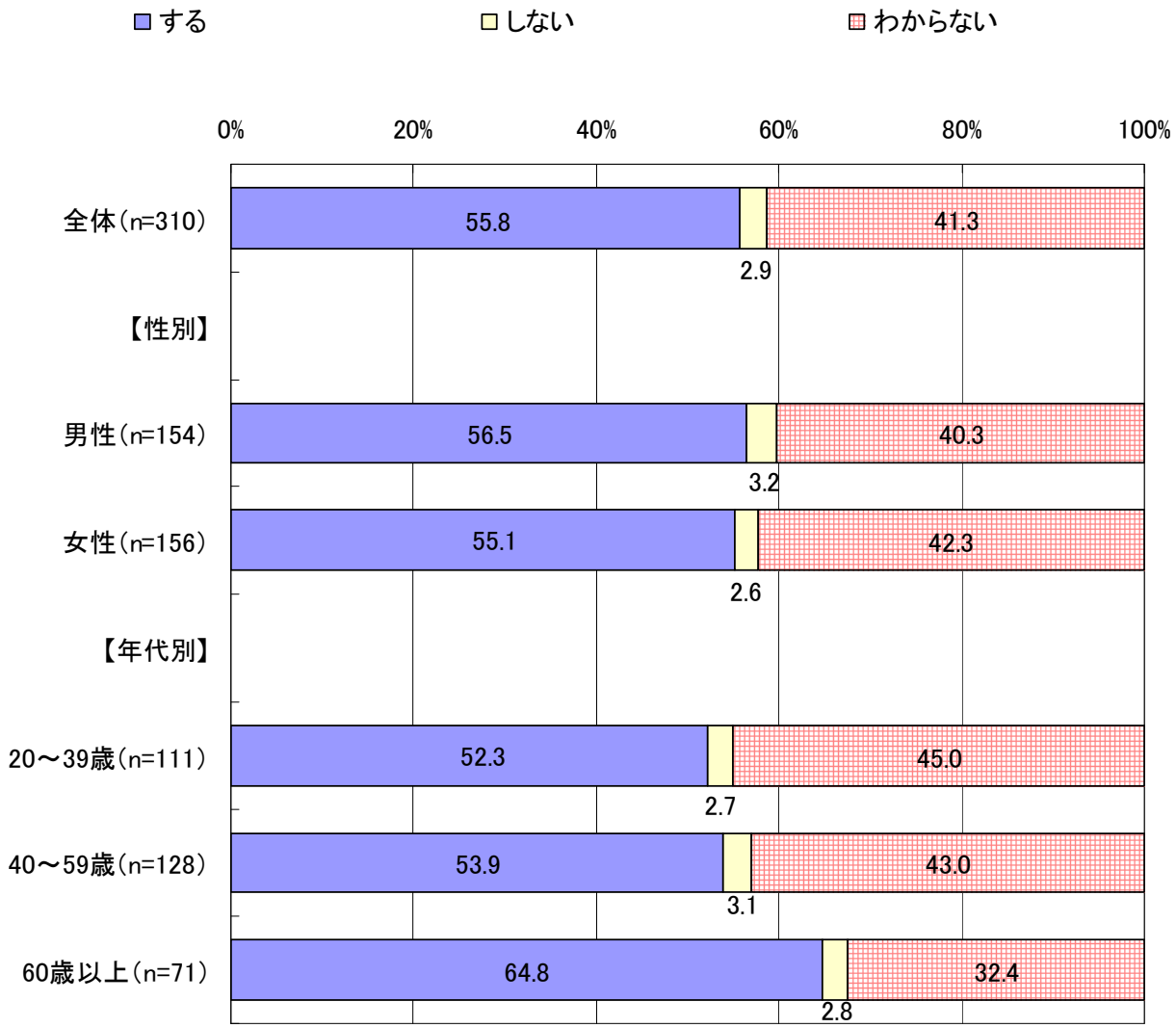
問９：今後、あなたの身近に児童虐待を疑われる家庭があった場合、あなたは、市町村や児童相談所に通告（相談）をすると思いますか。

ｎ＝３１０人

| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | する | １７３人 | ５５．８％ |
| ２ | しない | ９人 | ２．９％ |
| ３ | わからない | １２８人 | ４１．３％ |



【性別・年代別】

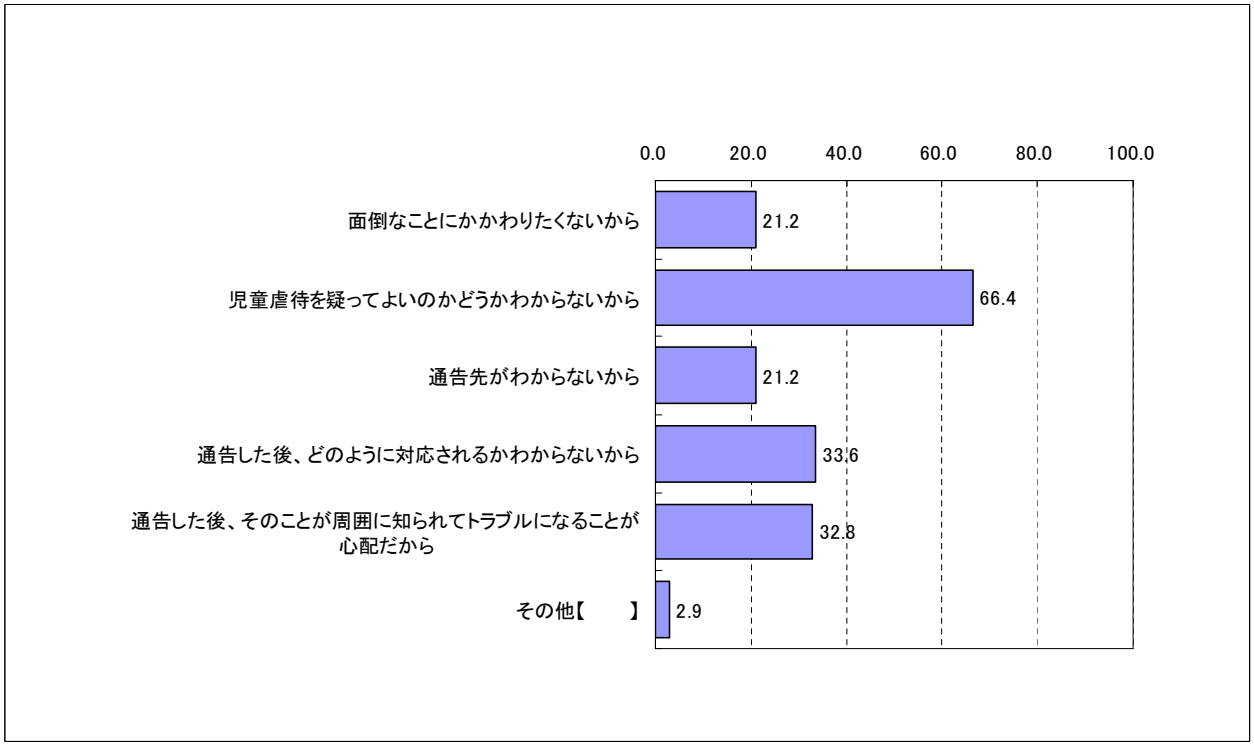

する
しない
わからない
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体（n=310）
55.8
2.9
41.3
【性別】
男性（n=154）
56.5
3.2
40.3
女性（n=156）
55.1
2.6
42.3
【年代別】
20～39歳（n=111）
52.3
2.7
45.0
40～59歳（n=128）
53.9
3.1
43.0
60歳以上（n=71）
64.8
2.8
32.4

９－付問．児童虐待の通告（相談）について（２）

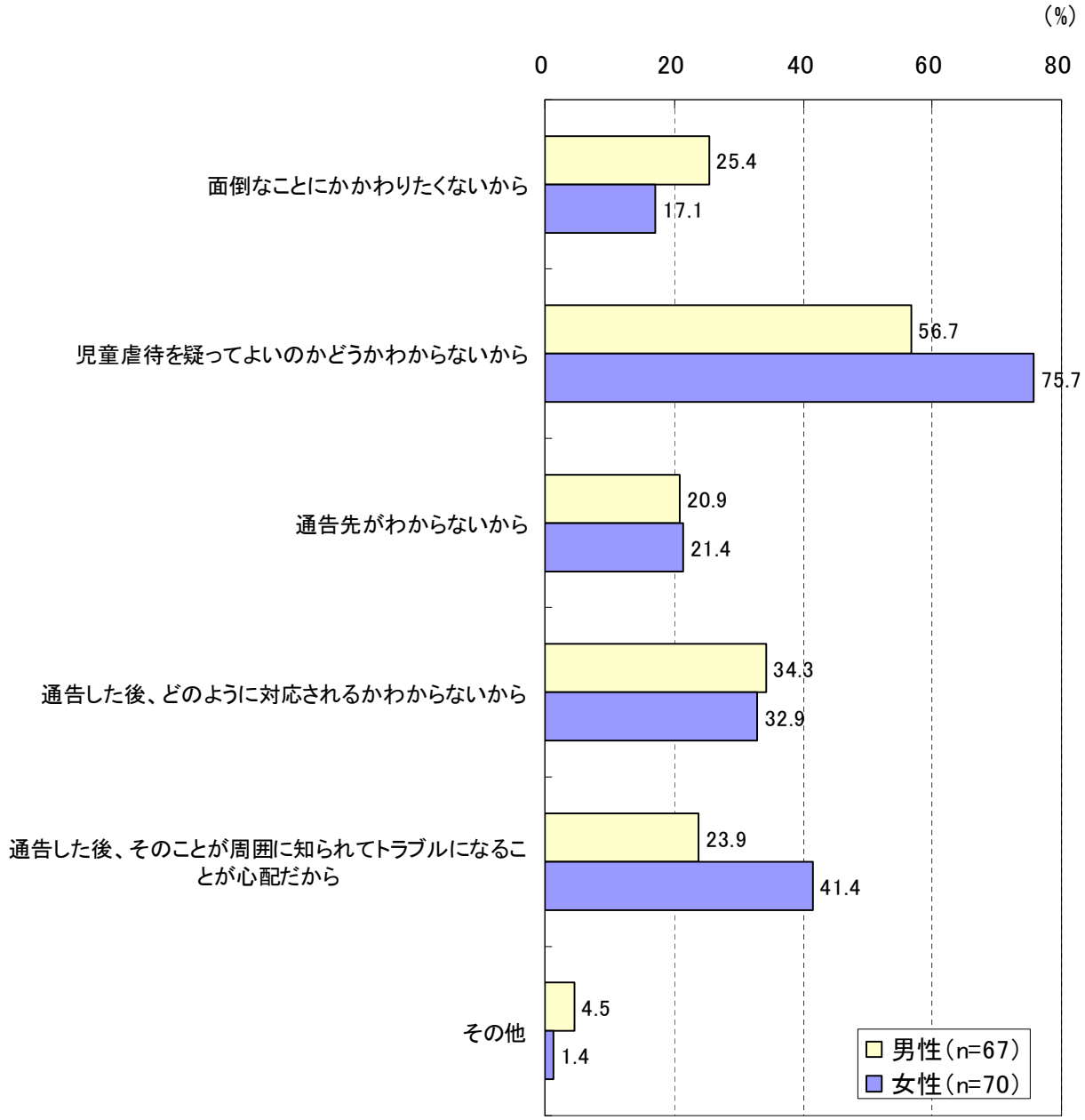
＜通告（相談）を「しない」あるいは「するかわからない」方へ＞
問９－付問：前問で、児童虐待について市町村や児童相談所に通告（相談）を「しない」あるいは「するかわからない」とお答えになったのはどのような理由からですか。

ｎ＝１３７人

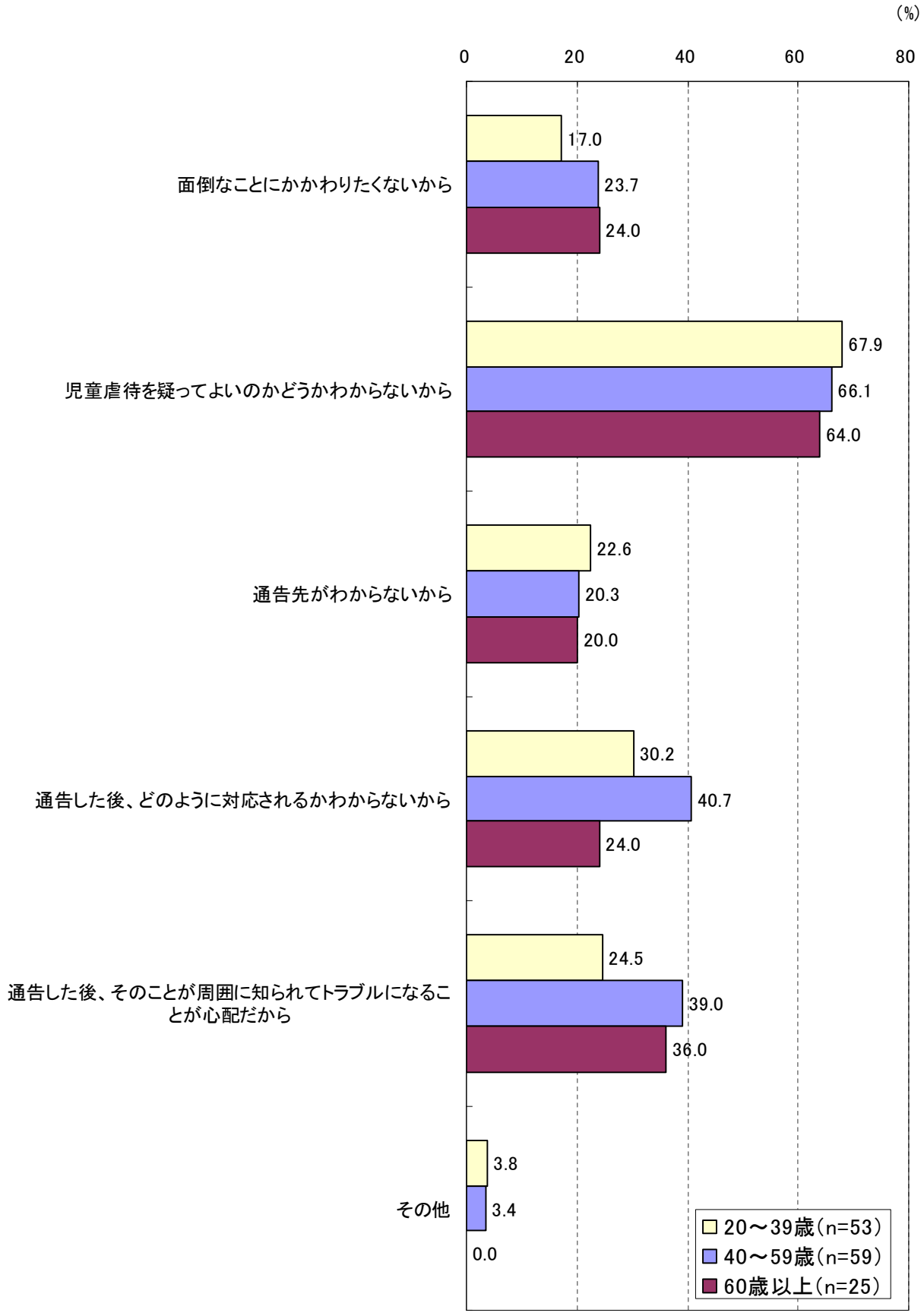
| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | 面倒なことにかかわりたくないから | ２９人 | ２１．２％ |
| ２ | 児童虐待を疑ってよいのかどうかわからないから | ９１人 | ６６．４％ |
| ３ | 通告先がわからないから | ２９人 | ２１．２％ |
| ４ | 通告した後、どのように対応されるかわからないから | ４６人 | ３３．６％ |
| ５ | 通告した後、そのことが周囲に知られてトラブルになることが心配だから | ４５人 | ３２．８％ |
| ６ | その他 | ４人 | ２．９％ |



【性別】


(%)
0
20
40
60
80
面倒なことにかかわりたくないから
25.4
17.1
児童虐待を疑ってよいのかどうかわからないから
56.7
75.7
通告先がわからないから
20.9
21.4
通告した後、どのように対応されるかわからないから
34.3
32.9
通告した後、そのことが周囲に知られてトラブルになることが心配だから
23.9
41.4
その他
4.5
1.4
男性(n=67)
女性(n=70)

【年代別】


(%)
0
20
40
60
80
面倒なことにかかわりたくないから
17.0
23.7
24.0
児童虐待を疑ってよいのかどうかわからないから
67.9
66.1
64.0
通告先がわからないから
22.6
20.3
20.0
通告した後、どのように対応されるかわからないから
30.2
40.7
24.0
通告した後、そのことが周囲に知られてトラブルになることが心配だから
24.5
39.0
36.0
その他
3.8
3.4
0.0
20～39歳(n=53)
40～59歳(n=59)
60歳以上(n=25)

## 10. 自由回答欄に寄せられた主なコメント（抜粋）

**問10：近年、児童虐待や「赤ちゃんポスト（こうのとりのゆりかご）」の是非などが社会問題となっています。子育てに悩みがある人や子育てが困難な人への支援について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。**

今回のアンケートでは、計217件のコメントが自由回答欄に寄せられた。ここでは紙面の都合上、43件のコメントを抜粋し、年代別に掲載する。

### ＜20～39歳＞

- ただ相談を聞くだけでなく、同じ悩みを抱える人との交流を持つことも重要ではないかと思う。実際には、子育て援助に関する施設や制度を細部まで知る親は少ないような気がする。そうした人たちの中では、県からの支援により避けられるような問題も困難な事柄として捉え、精神的に追い詰められてしまう場合もあるのではないかと思う。子育て支援や制度についての情報をもっと広く知ってもらえるような機会を設けるべきではないかと思う。

  （女性、23歳、学生、子育て経験なし）

- 赤ちゃんポストについては、酷いことするなと思う反面、殺してしまう又は虐待よりは断然親として素晴らしい決断だと思います。人に頼れず虐待に走る親御さんもいると思います。産んでから私も育児ノイローゼになりました。もっと身近に相談する相手がほしいです。あと、自由に遊ばせる支援センターを見直してほしい。場所も少ない、遠い。しかもおもちゃが汚い、床が汚い、大きい子が走り回る･･･行く気になれません。

  （女性、24歳、専業主婦、子育て経験あり）

- 私は『赤ちゃんポスト』賛成派です。小さい子供が犠牲になる事の多い今の時代、周りの大人の教育(注意する等)も必要ですが、一番危険なのは親。私も子育て中なのでよく分かりますが、深い愛情の中に大きなストレス・負担があります。一瞬の感情で虐待をし、それが快感となりそれが日常化する。それを周りが見て見ぬ振りをする位なら、親が「もう育てられない」と言った時に親子を引き離すのも一つの案。あとは、妊娠中から子供が小学生(もしくは入園)まで専門家が家や施設で定期的(年に数回)に子供に関する相談機会を設けたらいいと思います。

  （女性、25歳、専業主婦、子育て経験あり）

- 一人ですべてを抱え込まず第三者「身内や友達など」の意見を聞いたり手伝ってもらったりしながら子どもと共に自分も成長していけばいいと思う。

  （女性、27歳、専業主婦、子育て経験あり）

- 近年多発している、児童虐待等の問題も、すべて根本的な原因は、親が子育ての仕方を知らないということであり、そういう人たちへ、子育ての悩みについて相談する場を設けることは、大変重要なことだと思います。健全な子育てが確立しない限り、日本の明るい未来はあり得ないので、そのために何かできることがあればしていきたいと考えます。

  （男性、28歳、会社員、子育て経験なし）

● 赤ちゃんポストについては、色々な意見があるだろうけど、私は反対だ。例えば妊娠して育てられなければポストに入れればいいと思う人が増えそうな気がする。無理な事かもだけど、例えば大体の人は妊娠して1度は病院に行く訳だからその時に病院側が何か出来ないのかなと思ってしまう。

（女性、28歳、専業主婦、子育て経験あり）

● 自分の子どもを責任を持って育てられるように、経済的な支援とあわせて精神的な支援も必要だと思う。

（男性、30歳、公務員、子育て経験なし）

● 核家族化が進んでおり、近隣住民との交流が減ってきているのが子育て等に影響している一因だと思います。行政がどこまで出来るか正直不安です。地域の交流を深める方法も併せて考える必要があると思います。

（女性、32歳、その他、子育て経験なし）

● 赤ちゃんを育てられないと一人で悩むというのはものすごく辛いことだと思います。赤ちゃんだけをポストにおいてくるのではなく、お母さんも一緒に入って保護してもらえるポストがあったらいいのではないかと思います。

（女性、32歳、専業主婦、子育て経験あり）

● 「赤ちゃんポスト」は最終手段として必要なように感じます。悩んでいる時に、どこに、誰に相談していいのかもっと広く知られるようにしなければいけないし、相談に行きやすい環境を整えることが必要だと思います。

（女性、33歳、ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ、子育て経験あり）

● 一番信頼している親から虐待され、亡くなっていく子供が多い世の中、「赤ちゃんポスト」によって救われる命があるのなら、その設置には賛成です。もちろん、誰もが利用しない事に越したことはないですが･･･。

（女性、34歳、専業主婦、子育て経験あり）

● 核家族化や社会のつながりの希薄化などが要因にあげられているが、最近続いた誰にも知られずに出産→新生児遺棄という哀しい事件に心を痛めた。まずは性教育や家庭の築き方、一人の人間としての責任をもっと学生のうちに学ぶ事が必要なのでは・・・と思う。相談機関のアピールももっと必要であろう。

（女性、34歳、専業主婦、子育て経験あり）

● 今は子供がある程度大きくなったのであまり感じないが、やはり気軽に数時間だけ子供を預けられるような場所があるととても助かるし息抜きもできる。例えば大きなショッピングセンターなどには短時間託児施設を設けるなど。少しのゆとりで母親の気持ちは楽になる。

（女性、35歳、専業主婦、子育て経験あり）

● “生きる”“育てる”ということの意味や意義をもっと伝える必要があるのではないかと思います。特に大人になるまでの間に。

（男性、38歳、自営業、子育て経験なし）

● 本当の親から育ててもらうのは当然だと思うが、子供の生命の危険性があるのであればしかたない。里親制度を充実させるのが良いと思う。

（女性、38歳、公務員、子育て経験あり）

● 赤ちゃんポストについては否定的ですが、どうしても子供を育てられないという親もいることは事実で、施設と言われる子供を受け入れる設備のイメージアップと施設の多様化、またそういう施設を支援する企業やボランティアが増えることで、安心して施設に子供を預けることが出来るようになっていくことが望ましいと思います。また、施設に預けられた子供たちが強く生きていけるような教育や資格の取得、心のケアがもっと拡充されると良いと思います。

（女性、38歳、会社員、子育て経験なし）

● プライバシーの問題にもなりかねないのでむずかしい問題ですが、子育て中のお母さんの話をゆっくり聞いてあげられる時間スペース、そして一時預かり託児所（格安）などを充実させて欲しいと思う。また新潟は冬の子供の遊び場がかなり少なく、もう少しママさん同士も集えるような場所などの提供場所を増やして欲しいです。

（女性、39歳、専業主婦、子育て経験あり）

＜40～59歳＞

● 悩み等がある人にもそれぞれ性格で他に相談する事も出来ない人も多多あると思いますので、やはりメール等での相談など顔を合わさなくても安心して相談できる様なサービスの充実と、主におじいちゃん、おばあちゃんと住んでない人にはいろいろなサービスがある事を特に知らせる事が良いと思います。

（男性、40歳、自営業、子育て経験あり）

● 制度を知らずに支援を受けられる人が受けられない状況があると思います。広報に力を入れてください。

（男性、41歳、自営業、子育て経験なし）

● もしかしたら失われていたかもしれない命が救われた（親も虐待や殺人などの犯罪を犯さずに済んだ）事を考えると有効だと思う。赤ちゃんポストなどないに越したことはないが、現実問題として子供を捨てる親が存在する以上は必要だ。せめて赤ちゃんポストに子供を預けた事を後悔して引取りに来易いようなシステムが構築されたらと希望しますが・・・。

（男性、42歳、公務員、子育て経験あり）

● 行政での相談窓口の存在などがわかりづらい。また専門家も足りないのでは？という疑問がある。人員が足りず忙しさで深く相談にのれないのでは？行政での支援にはもっとお金をかけてもいいと思います。

（女性、43歳、専業主婦、子育て経験なし）

● 赤ちゃんポストも一つの方法だとは思うが、とにかく通常の子育てでも育てにくい世の中なんだから、子育てしやすい環境作り、子供を産んで育てながらも仕事に就ける状態が必要だと思います。世知辛い世の中で隣は何をする人ぞ的なご時勢だから、悩んだ時は子供を連れていつでも相談に来てという窓口が必要。保健センターの保健婦さんはけっこうきつい言葉を浴びせる人がいるので相談できない人が多いです、資格にこだわらず、子育て真っ最中の相談者より少しだけお姉さんの先輩お母さんなんて相談しやすいのではないでしょうか？

（男性、43歳、会社員、子育て経験あり）

● 赤ちゃんポストは安易な子育て放棄が心配。産んでも育てることが困難な状況が予想されるのであれば、子供を作らない、という選択があるはず。

（男性、44歳、会社員、子育て経験あり）

● 子どもは社会の宝でもあるので、育児ができない家庭の支援は積極的に行うべき。親が育てられない、虐待があるなどの世帯の子どもは社会全体で育てる仕組みの方が良いかもしれない。自治体などが強制的に子を預かる制度が必要。

（男性、44歳、公務員、子育て経験あり）

● 個人のプライバシーの保護を徹底的にしないと、安心して相談できないような気がします。安易な指導よりも、じっくり話を聞いてあげることが必要かと思います。

（女性、45歳、会社員、子育て経験なし）

● こうのとりのゆりかごについて、安易に子供を捨てるんじゃないかというのが反対意見のほとんどですが、親の教育をしている間にも子供は虐待されたりしている現実がある。私はこうのとりのゆりかごには賛成です。相談所には経験の豊富な人材を置いてほしい。子供も親も保護を必要としている場合が多いと思います。

（女性、45歳、専業主婦、子育て経験あり）

● 悩みがある人は窓口があるんだから相談にきなさい。ただし相談時間は規定の通りで時間外は受け付けません。窓口には直接きなさい。どのような事情でも匿名は受け付けません。というような体質のままでは、本当に困っているかなり弱い立場の者は誰にも気づかれないまま悲惨な方向へ進むしかないのではないか。

（女性、45歳、会社員、子育て経験あり）

● 虐待などで子どもを殺害してしまう親などより、赤ちゃんポストなどでも子どもたち自身を守ることが大事だと思う。虐待の疑いがある人が周囲に居たとき児童相談所に通知したいと思うが、虐待している親からそのことがわからないようにしてほしい。

（女性、46歳、ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ、子育て経験あり）

● 核家族化が進み、親や祖父母、子育て経験者の話を聞くことが少なくなっているので小さいことで悩んだり、一人で苦しんだりする人が増えていると思う。どんな些細なことでも相談する窓口があるといいと思う。

（女性、47歳、会社員、子育て経験あり）

● 相談できる雰囲気が出来る事が先ず第一にやることで、マスコミを通じて常にアピールする事だと思う。若い人たちは、食べるためのお金が無くても、携帯に対するお金はケチらないといいます。携帯を使って、ホームページやメールなどで利用しやすいようにすればいいと思う。

（男性、47歳、会社員、子育て経験あり）

● 悩みを聞く窓口や支援をする窓口の存在を様々な媒体を通して、もっともっと告知して、皆に知ってもらうこと。また、児童虐待を通知した場合、どのような対策が取られるのかや、通報した人のプライバシーについてはどのように守られるのかなども、一般的な流れとして、教えて欲しいです。

（女性、47歳、会社員、子育て経験あり）

● 役所が直接相談にのるには人数的に困難だとおもうのでボランテアを多く育ててそれをつなげるシステムを作り気軽に相談できる状況を作りだしてほしい。

（女性、52歳、専業主婦、子育て経験なし）

● 今や、子供は本当に社会の宝だと思う。虐待されて、幸せを感じることなく天に召された子供の事を思うと悲しい。施設から自宅に戻ってから、虐待されるケースも多いようなので、職員の数を増やしてでも、対応に全力を注いで欲しいと思う。

（女性、54歳、ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ、子育て経験あり）

● 子供の時期からもっと倫理の教育が必要、最近の親は、親になる資格の無い様な親が多いと思う。そこから教育すればもっと子供を育てることの意識が育つのではないかと思う。赤ちゃんポストは、赤ちゃんの人権を守るためにも必要と思う。

（男性、54歳、経営者・役員、子育て経験あり）

● 子育てに悩みがある人は、本当に多いと思います。その人達がどんなことでも気軽に相談できるような場所、相談方法、多様な人材が必要です。また、それの周知徹底がされないと活用されないと思います。最近の対応はわかりませんが、私が子育てしていた十数年前には、悩み相談に児相に行くなんて思いもしませんでした。

（女性、56歳、専業主婦、子育て経験あり）

**＜60歳以上＞**

● 児童虐待が起こりうる背景には、隣近所との付き合いの疎遠や町内会など地域とのコミュニケーションが無いなど人と人との心の触れ合いが無くなっている事や格差社会で若年層の失業が広がり心にゆとりが無くなって来ているのも要因になっていると思います。政府はその辺の状況をもっと把握し、早急な対策を取ってもらいたいです。

（男性、60歳、会社員、子育て経験なし）

● 昔は子育てのベテラン（両親）との同居で悩みがあるときは助けてもらえたけれど、今は核家族が増え自分と子供だけの時間が多くなり人との交わりも少ない。悪いことが起きたりすると良くない方向に考えがちになるので、同じ子供を持つ親同士の交流を深める機会を沢山作ってあげたらいいのではないかと思います。

（女性、64歳、ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ、子育て経験あり）

● （行政に頼るとか、行政の責任を問題にする前に）全くの第三者である近隣の人の支援も必要な時代かも知れないが、もっと近親者（親、兄弟、従兄弟、叔父、叔母等）による気配りが必要ではないか。

（男性、65歳、その他、子育て経験あり）

● 行政と個人の関係も大事だが、個人と個人とのつながり（悩める者同士のネットワーク？）も必要なのでは？気楽に悩みを話せる場があったら良いのではと思うが、悩みを知られたくないと考える人もいるので難しいかも…。

（男性、66歳、その他、子育て経験あり）

● 相談にかかわる相談員は概して紋切り型、官僚型、一般的な事しか言わない。相談しても効果が無いと思っている人が多い。

（男性、67歳、その他、子育て経験あり）

● 支援を受けることが当然の権利と思い違いをしている親が多い。社会や周囲に対する責任や義務、礼儀があることを忘れて、特別な存在であるかのように権利の主張をされることには戸惑いを覚える。親に対する指導や教育も必要だと思うのですが･･･。

（男性、68歳、自営業、子育て経験あり）

- 児童委員の数を増やすとともに、その児童委員と地域とのつながりをシステム化する。この場合、プライバシーの確保が一番の懸案事項であるが。

（男性、68歳、その他、子育て経験あり）

- 赤ちゃんポストもそうですが、親の自覚無いままに妊娠し出産する事はある意味罪だと思います。きちんとした避妊もそうですが、母親以上に父親にも自覚を促せられたら、と思います。産婦人科で待っているときに待合室で子供を下ろすという話をしている方々が居て、父親の親が「この子の将来が」と口にするのを聞いて寒気がしました。自分の孫でしょう？子育て以前に、貞操観念や避妊の事から始めてみてはいかがでしょうか。

（女性、84歳、専業主婦、子育て経験あり）